



社会福祉法人なごみの郷

就労支援センターつばさ
グループホームなごみ
グループホーム弥生荘
ホームヘルプステーションなごみ
相談支援センターなごみ
地域活動センターくろゆり
能美地域活動センターはまかぜ
能美地域活動センターはまかぜ山口分場
相談支援センターはまかぜ

令和1年度事業実績及び令和2年度に向けて

〒923-0851 小松市北浅井町り 123 番地

TEL (0761) 23-7232

FAX (0761) 23-7284

E-mail : shafuku@nagomi-no-sato.or.jp

<http://www.nagomi-no-sato.com>

なごみの郷の理念

なごみの郷は、「地域で普通の生活をしつつ、未来に向かって希望の道を歩むこと」を大きな目標とします。

その目標を達成するために、なごみの郷はその名の由来通り「人の輪と心が和む場」を大切にし、「一人一人が夢と希望を持って生きること」を目指して、医療・行政機関等との緊密な連携のもとに、「絶えず創意工夫を積み重ね、最善を尽くすこと」を信条とします。

基本方針

- 1 人の輪、こころの和を大切にしたサービスに努めます。
- 2 一人一人の権利と尊厳を守り、個人の自律及び自立を尊重することに努めます。
- 3 利用者、家族、ボランティア、地域住民と一体となって推し進めます。

なごみの郷主要施設



なごみの郷本館



グループホームしらさぎ



地域活動センターくろゆり



能美地域活動センターはまかぜ



能美地域活動センターはまかぜ
山口分場

地域共生の地域づくりを拓く

なごみの郷では、今年に入り新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防として、3密（密閉、密集、密接）を避け、利用者や職員は言うに及ばず、あらゆる施設入館者には手洗い、マスク、体温測定（37.5℃以上不可）を求め、その他にも施設のアルコール消毒の徹底や手軽に使えるように消毒液を数多く設置を実施する対策を取っております。



緊急事態宣言発令後は、利用者への利用自粛や、外部からの入館制限と可能な限りの職員の自宅待機についても行いました。また、保健所から感染防止のための指導を受けて全体への周知にも務めています。

又、残念ながら恒例になっていた3月の「春の日の食談会」と小松市制80周年の協賛事業として地域と共に盛り上げる予定であった6月の「第21回のなごみ祭」の開催中止を早々に決めております。とにかく（COVID-19）の早い終息を祈るばかりです。

これまでの国の動きに「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」があります。この法律は、社会福祉法、介護保険法、老人福祉法等の連携を目指すためのものだといわれて、第4条には「地域福祉の推進」が新設されました。その内容は、「地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、参加し、共生する地域社会の実現を目指して行われなければならない」となっています。

そんな動きがある中、昨年8月に新たな施設として「能美地域活動支援センターはまかぜ山口分場」が能美市と地域の方々の御支援により能美市山口町に誕生しました。開所式では能美市長をはじめ多くの御来賓の祝辞をいただき、合わせて法人創立20周年記念式典をも執り行うことが出来ました。

これからも、さらに地域が求める将来事業環境の整備と将来の法人を託していける人材確保や職員の個々の意識と資質向上を図っていく所存です。

なごみの郷の基本方針に安心、安全の住み慣れた地域で一人ひとりが主人公になって、自分らしく生きていくことのできる社会でありたいと願って「利用者、家族、ボランティア、地域住民が一体になって推し進めます」と掲げています。

今後とも地域の皆様をはじめ行政や関係機関の方々により一層のご理解とご支援を賜り、合わせて地域共生社会実現に向けて宜しくお願い申し上げます。

令和2年6月

社会福祉法人なごみの郷
理事長 荒田 稔

目次

I	法人の概要	- 1 -
1	法人の沿革	- 1 -
2	施設の規模	- 2 -
3	組織・機構	- 3 -
4	関係団体の動き	- 4 -
5	職員構成	- 4 -
6	令和1年度 特記事項	- 6 -
II	支援部	- 7 -
	《就労移行支援事業、就労継続支援B型事業》 就労支援センターつばさ	- 7 -
1	事業の概要	- 7 -
2	事業実績	- 8 -
3	行事等での年間活動	- 10 -
4	就労支援	- 10 -
5	作業の概要	- 11 -
6	家族交流会	- 16 -
7	自動車総連よりノートパソコン寄贈	- 16 -
8	小松市立松陽中学校職場体験学習の受け入れ協力	- 16 -
9	小松大谷高等学校 ボランティア部活動	- 16 -
10	地域交流	- 17 -
11	第12回 明後日朝顔全国会議 2019in 小松	- 17 -
	《就労継続支援B型事業、地域活動支援事業》 能美地域活動センターはまかぜ	- 18 -
1	事業概要	- 18 -
2	事業実績	- 19 -
	能美地域活動センターはまかぜ山口分場 開所式	- 24 -
3	令和2年度に向けて	- 25 -
	《共同生活援助事業（介護サービス包括型）》 グループホームなごみ・しらさぎ	- 25 -
1	事業の概要	- 25 -
2	年代別利用者内訳（令和2年3月31日現在）	- 26 -
3	利用状況	- 26 -
4	主な日中の生活の場（令和2年3月31日現在）	- 26 -
5	利用者支援等	- 26 -
6	令和1年度の動向	- 28 -
	《共同生活援助事業（外部サービス利用型）》 グループホーム弥生荘	- 28 -
1	事業の概要	- 28 -
2	年代別利用者内訳	- 29 -
3	利用状況	- 29 -
4	主な日中の生活の場（令和2年3月31日現在）	- 29 -
5	利用者支援等	- 29 -
6	令和1年度の動向	- 30 -
	《相談支援事業》 相談支援センターなごみ・相談支援センターはまかぜ	- 31 -
1	事業の概要	- 31 -

《生活介護事業、自立(生活)訓練事業、地域活動支援事業》	地域活動センターくろゆり	- 35 -
1	事業の概要	- 35 -
2	事業利用状況	- 36 -
3	活動内容	- 37 -
	《地域交流推進事業》	- 39 -
1	地域交流センター及び地域交流室の活用	- 39 -
2	青葉会（当事者会）の活動	- 39 -
3	その他の地域福祉関係者との活動内容	- 40 -
III	令和1年度の決算状況	- 47 -
1	資金収支計算書	- 47 -
2	事業活動計算書	- 48 -
3	貸借対照表	- 49 -
IV	その他	- 50 -
1	法人内研修	- 50 -
2	研修・各種団体会議への出席	- 50 -
3	関連団体への参加	- 51 -
4	令和1年度看護学生実習概要	- 52 -
5	コマニ(株)社員研修	- 52 -
6	小松市民病院 精神科医療チームと社会福祉法人なごみの郷 職員との実習	- 53 -
7	わく・ワーク体験事業実施事業所として協力	- 53 -
	なごみの郷苦情解決第三者委員	- 54 -

I 法人の概要

1 法人の沿革

年	月	摘 要
H10	12	「社会福祉法人なごみの郷」設立発起人会発足
H11	8	社会福祉法人なごみの郷設立 初代理事長 廣川 俊雄氏 就任
H12	4	なごみの郷本館新築 精神障害者社会復帰施設「地域生活支援センターなごみ」 「福祉ホームなごみ」「通所授産施設つばさ」開設
H13	3	二代目理事長 西出 外次 氏 就任
H14	4	精神障害者「グループホーム弥生荘」開設
	10	ホームヘルプサービス事業開始
H15	4	なごみの郷敷地内にしらさぎ館新築 精神障害者「グループホームしらさぎ」「地域交流センターしらさぎ」 小規模通所授産施設「フレンズくろゆり」開設 レスパイトケア事業・精神障害者地域生活サポート事業開始
	8	三代目理事長 木村 正行 氏 就任
H18	10	「福祉ホームなごみ」より障害福祉サービス事業「ケアホームなごみ」 に事業変更・経過的地域生活支援センター事業（小松市委託）開始 「地域生活支援センターなごみ」より 相談支援事業（小松市委託）に事業変更
H19	3	相談支援事業（小松市委託）廃止
	4	「地域活動支援センターくろゆり」「相談支援センターなごみ」 「ホームヘルプステーションなごみ」開設 「通所授産施設つばさ」より「就労支援センターつばさ」に事業変更
	5	「グループホームしらさぎ」より「グループホームケアホームしらさぎ」 に事業変更
H20	11	「地域活動支援センターくろゆり」より「地域活動センターくろゆり」 に事業変更・「相談支援センターなごみ」増築
	12	「地域活動センターくろゆり」改築
H21	8	四代目理事長 水腰 久美子 氏 就任
	10	法人設立10周年記念式典開催
H22	4	「グループホームケアホームしらさぎ」より「ケアホームしらさぎ」 に事業変更
	8	五代目理事長 小杉 修 氏 就任
H24	3	「能美地域活動センターはまかぜ」を就労支援センターつばさの サテライト事業所として開設
	8	六代目理事長 荒田 稔 就任

H25	4	「能美地域活動センターはまかぜ」を就労継続支援（B型）事業と地域活動センターとして開業
	8	「相談支援センターはまかぜ」を能美地域活動センターはまかぜ内に開設
H26	4	「ケアホームなごみ」「ケアホームしらさぎ」を「グループホームなごみ」「グループホームしらさぎ」に事業変更
H30	4	「地域活動センターくろゆり」自立(生活)訓練事業を休止
	11	「ホームヘルプステーションなごみ」居宅介護事業を休止
R1	8	「能美地域活動センターはまかぜ山口分場」を能美地域活動センターはまかぜのサテライト事業所として開設
		相談事業所「相談支援センターはまかぜ」を山口分場へ移転
R2	4	「能美地域活動センターはまかぜ山口分場」を就労継続支援（B型）事業と地域活動センターとして開業

2 施設の規模

① 社会福祉法人なごみの郷	〒923-0851	小松市北浅井町り 123 番地
・敷地面積		2,415.00 m ²
・建物3棟総床面積（構造・面積 木造一部2階建て）		1,017.24 m ²
グループホームなごみ	306.19 m ²	就労支援センターつばさ 348.85 m ²
相談支援センターなごみ・ホームヘルプステーションなごみ他	160.83 m ²	
グループホームしらさぎ	89.43 m ²	地域交流センターしらさぎ 104.34 m ²
ポンせん加工室	24.00 m ²	
② 地域活動センターくろゆり	〒923-0863	小松市不動島町甲 22 番地
・敷地面積（甲 21 番地 駐車場含む）		339.59 m ²
・建物床面積（構造・面積 木造2階建て）		211.89 m ²
③ グループホーム弥生荘	〒923-0943	小松市育成町 18 番地
・建物床面積（構造・面積 木造2階建て）		149.63 m ²
④ 能美地域活動センターはまかぜ	〒929-0105	能美市中ノ江町と 104-1 番地
・敷地面積		1,817.50 m ²
・建物床面積（構造・面積 鉄筋コンクリート1階建て）		389.18 m ²
倉庫		32.17 m ²
⑤ 能美地域活動センターはまかぜ	〒929-0126	石川県能美市山口町ホ 17-1 番地
山口分場		
・敷地面積		2,311.87 m ²
・建物床面積（構造・面積 鉄筋コンクリート1階建て）		519.00 m ²
機械室他		113.78 m ²

3 組織・機構

(1) 令和2年度法人の役員等名簿（令和2年4月1日現在）

役員

理事長 荒田 稔	理事 北岡 和代	理事 石山 雄一
理事 三上 紀美恵	理事 村中 豊	理事 高田 茂
監事 千田 純一	監事 川畑 真智子	—

以上理事6名監事2名

(2) 顧問

水腰 久美子	木崎 馨山	—
--------	-------	---

以上2名

(3) 評議員選任解任委員

監事委員 川畑真智子	外部委員 細川 勝正	外部委員 新谷千代子
外部委員 高見 京子	事務局委員 瀬戸俊文	—

以上5名

(4) 評議員

中島 捷純	岡田 啓	本多 清人	岡田 和昌
新川 葉子	榊田 雅美	西野 純枝	—

以上7名

(5) 苦情受付

苦情解決第三者委員	北岡 和代	井村 千里
-----------	-------	-------

苦情解決責任者	村中 豊	苦情受付担当者	小川 久美
---------	------	---------	-------

4 関係団体の動き

年度	摘 要
昭和 48 年	小松保健所（現南加賀保健福祉センター）管内精神障害者家族会「くろゆり会」発足
昭和 63 年	小松市不動島町に小規模作業所「くろゆり作業所」開設
平成 5 年	ボランティアグループ「くろゆり作業所を支える会」発足
平成 6 年	小松保健所のメンタルヘルスボランティア講座始まる。 ボランティアグループ「メンタルフレンズつばさ会」発足 小松市末広町に第2作業所「ワークハウスつばさ」開設
平成 7 年	小松能美こころの街づくり推進協議会開催 ボランティアグループ「みのり会」発足
平成 8 年	「ワークハウスつばさ」小松市小馬出町に移転 ボランティアグループ「こだま会」発足
平成 9 年	「小松能美精神障害者社会復帰施設法人設立準備の会」発足
平成 10 年	ボランティアグループ「ハーモニー」発足
平成 11 年	ボランティアグループ「ののはな」発足
平成 12 年	小松能美メンタルヘルスボランティア連絡協議会発足
平成 14 年	ボランティアグループ「かよう会」発足
平成 15 年	ボランティアグループ「のぞみの会」発足
平成 16 年	メンタルヘルスボランティア 8 グループを統一して、「小松能美メンタルヘルスボランティア友の会」として発足

5 職員構成

常勤役員 1 名 職員 38 名 [常勤 19 名 (男 3 名 女 16 名) 非常勤 19 名 (男 7 名 女 12 名)]

有資格者内訳《重複者複数》

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

資格内容	人数	資格内容	人数	資格内容	人数
社会福祉施設長	1	精神保健福祉士	10	社会福祉士	7
看護師	1	介護支援専門員	4	介護福祉士	5
保育士	1	養護教諭	1	ホームヘルパー	6
介護職員初任者研修	1	管理栄養士	1	栄養士	1

他 派遣労働者 シルバー人材センター (世話人・清掃)

業務委託先 NPO 法人えんがわ 他 (送迎車両担当、夜間世話人)

職員体制

令和2年4月1日現在

所属及び職名		氏名	備考	福祉関係有資格	
理事長		荒田 稔		精神保健福祉士	
所長(施設長)		村中 豊		社会福祉施設長	
部長(管理者)		高田 茂		精神保健福祉士・社会福祉士	
部長(管理者)		小川 久美		精神保健福祉士	
次長(管理者)		瀬戸 俊文		精神保健福祉士・社会福祉士	
法人本部(総務部)		鈴木 栄子			
就労支援センター つばさ	管理者	小川 久美	兼 相談支援センターなごみ管理者	精神保健福祉士	
	就労継続支援B型	サービス管理責任者	金谷 葉月		精神保健福祉士・社会福祉士
		生活支援員	北島 千裕		社会福祉士
		目標工賃達成指導員	西東 健太		
		職業指導員	山田 紗貴		管理栄養士
			中村 有紀		精神保健福祉士
			酒井 真由美		
			向井 進		
泉 律子					
相談支援センター なごみ	相談支援専門員	堂前 美春		精神保健福祉士	
		宇野 結貴		精神保健福祉士・社会福祉士・介護支援専門員	
なごみ・しらさぎ・弥生荘 グループホーム	管理者兼サービス管理責任者	瀬戸 俊文		精神保健福祉士・社会福祉士	
	共同生活援助	生活支援員	番 千恵子	兼 弥生荘世話人	栄養士
		小島 優衣		社会福祉士	
		世話人	村中 豊		
			武田 春江		
			中山 裕子		
		世話人(運番専属)	打越 賢一		
			近藤 悠	派遣	17:00~21:30 交代勤務(日曜~土曜)
小松市シルバー人材センター					
弥生荘世話人	富樫 尚子		介護福祉士		
以下4事業所 管理者		高田 茂		精神保健福祉士・社会福祉士	
くろゆり 地域活動センター	生活介護	サービス管理責任者	西出 加代	介護支援専門員	
		生活支援員	松本 里絵	精神保健福祉士	
			三宅 奈津子		
		看護師	吉田 裕美子	看護師	
	地域活動支援センター	生活介護事業と兼務			
はまかぜ 能美地域活動センター	就労継続B型	サービス管理責任者	山口 充子	介護福祉士・保育士	
		生活支援員	南出 真里江	介護福祉士	
		職業指導員	杉森 早希		
			宮本 周子		
			橋本 庄哉		
	藤岡 哲哉				
地域活動支援センター	就労継続B型事業と兼務				
はまかぜ山口分場 能美地域活動センター	就労継続B型	サービス管理責任者	江端 安代	介護福祉士	
		生活支援員	猿橋 弓子	介護支援専門員・介護福祉士	
		職業指導員	前出 真	精神保健福祉士・社会福祉士	
			前田 信夫		
	地域活動支援センター	就労継続B型事業と兼務			
相談支援センター はまかぜ	相談支援専門員	土山 信英		社会福祉士・介護支援専門員	
		海老原 綾		社会福祉士	
顧問医		岡本 進	岡本病院(小松市小馬出町)		

6 令和1年度 特記事項

1 固定資産の取得

・大型修繕

4月	GHなごみ廊下仕切引き戸取り付け	173,448円
7月	能美地域活動センターはまかぜ山口分場改修整備工事 (石川県社会福祉事業振興資金より9,000千円借入)	9,936,000円
8月	山口分場改修整備追加工事	2,181,600円
2月	中ノ江大麦精麦作業場改装	704,000円

・車 両

9月	普通乗用(トヨタパッソ)はまかぜ車両増車	280,500円
----	----------------------	----------

・機械器具

4月	つばさ作業用玄米低温冷蔵庫	200,000円
8月	山口分場空調及び火災警報設備	2,332,800円
10月	GHなごみ・しらさぎ防犯カメラ増設	473,000円

・構 築 物

8月	山口分場駐車場整備	864,000円
----	-----------	----------

2 その他

9月 全日本自動車産業労働組合総連合会の福祉募金活動によりノートパソコン5台(30万円相当)の寄贈を受ける。

以上



山口分場 工事中の外観



山口分場 工事中の内観

II 支援部

《就労移行支援事業、就労継続支援B型事業》 就労支援センターつばさ

1 事業の概要

就労支援センターつばさは、就労移行支援事業（定員6人）と就労継続支援B型事業（定員14名）の多機能型20人で事業を展開した。

（1）就労移行支援事業

（サービス内容） 一般就労を希望する利用者に対し、作業を通して、知識・能力の向上を図り、ビジネスマナーを身につける訓練と働くための基礎力がつくよう支援等を実施する。

個別支援計画を作成し、その進捗状況に応じて職場体験等を組み合わせ、地域の就労支援機関等と連携を図り求職活動を行い、目標達成できるよう支援する。

（定員） 6人

（利用料） 502円/日（個人の所得によって上限がある）

（サービス提供日時） 毎週月～金曜日（午前8時30分～午後5時まで）
販売会、行事、訓練実習等により土・日・祝日有り

（利用期間） 24ヵ月

（訓練内容） 菓子製造、喫茶、厨房、委託事業等の作業で就労に向けての疑似体験での訓練、ビジネスマナー、履歴書の書き方、面接の練習、一般就労に向けてのプログラム等の訓練

（その他） 送迎サービス、配食サービス等が利用できる

（2）就労継続支援B型事業

（サービス内容） 企業等への雇用に結びつかなかった人や、一定年齢に達している人に対し、通所により就労や生産活動の機会を提供する。
また、一般就労に必要な知識、能力が高まった利用者を次のステップに向けて支援する。

（定員） 14人

（利用料） 589円/日（個人の所得によって上限がある）

（サービス提供日時） 毎週月～金曜日（午前8時30分～午後5時まで）
販売会、行事等により土・日・祝日有り

（利用期間） なし

（作業内容） 菓子製造、喫茶、厨房、委託事業、エコステーション管理

（その他） 送迎サービス、配食サービス等が利用できる

2 事業実績

(1) 登録者の推移

①人数

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
就労移行事業（定員6名）	2人	2人	3人	3人	2人	2人
就労継続（B型）（定員14名）	26人	25人	25人	25人	25人	24人

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年度平均	前年度
1人	2人	2人	1人	2人	1人	23人	1.9人	3.7人
26人	26人	26人	26人	25人	27人	306人	25.5人	23.3人

②市町村登録者数

市町村名	小松市	能美市	加賀市	川北町	その他	合計
延人数	265人	24人	12人	12人	16人	329人
構成比率	80%	7%	4%	4%	5%	100%

③年代別登録者数（令和2年3月31日現在）

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	計
男性	1人	3人	2人	2人	3人	4人	15人
女性	0人	4人	5人	1人	2人	1人	13人
計	1人	7人	7人	3人	5人	5人	28人

(2) 延利用者・利用率の推移

①就労移行支援事業

開所月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延利用者	30人	29人	39人	42人	34人	33人
開所日数	24日	21日	22日	26日	22日	22日
稼働率	21.7%	23.3%	28.3%	26.7%	25.0%	25.0%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
19人	27人	20人	19人	22人	4人	318人	26.5人
24日	23日	21日	21日	21日	22日	269日	22.4日
13.3%	20.0%	16.7%	15.0%	16.7%	3.3%	19.7%	

②就労継続支援（B型）事業

開所月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延利用者	394人	360人	374人	418人	349人	337人
開所日数	24日	21日	22日	26日	22日	22日
稼働率	117.1%	122.1%	121.4%	115.0%	113.6%	109.3%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
393人	394人	357人	313人	302人	365人	4,356人	363.0人
24日	23日	21日	21日	21日	22日	269日	22.4日
117.1%	122.1%	121.4%	106.4%	102.9%	118.6%	115.7%	

(3) 平均工賃の推移

①就労移行支援事業

単位：円

支給月	4月	5月	6月	特別賞与	7月	8月	9月	10月
総支給額	27,037	31,527	30,953	22,600	35,641	25,929	18,260	13,940
平均工賃	13,519	15,764	15,477	4,520	17,821	12,965	9,130	13,940

11月	12月	年末賞与	1月	2月	3月	年度末賞与	合計
11,602	15,986	20,600	14,686	15,110	619	23,800	308,290
11,602	15,986	10,300	14,686	7,555	619	7,933	13,845

②就労継続支援（B型）事業

単位：円

支給月	4月	5月	6月	特別賞与	7月	8月	9月	10月
総支給額	195,149	213,212	210,056	317,200	228,506	202,773	185,493	217,261
平均工賃	8,485	8,884	8,402	12,200	9,521	8,449	7,729	8,356

11月	12月	年末賞与	1月	2月	3月	年度末賞与	合計
211,589	185,600	178,300	167,426	148,366	195,542	195,300	3,051,772
8,584	7,733	6,858	7,610	7,065	8,502	7,812	10,516

3 行事等での年間活動

生活のリズムを整え気分転換と交流の機会をもち社会性の幅を広げることを目的として活動している。

開催月	活動内容	開催場所	参加人数
年間活動	カラオケ交流（年間5回）	なごみの郷	平均5人
4月	花見	芦城公園	10人
	白山眺望ウォーク 2019	木場潟公園中央園地	3人
5月	YECCA@VECCA ライブ	なごみの郷	10人
6月	おはぎの会	なごみの郷	6人
7月	七夕コンサートへいこう！	サイエンスヒルズこまつ	6人
8月	そうめん&すいか割り～夏を楽しもう～	なごみの郷	11人
	冷たいそばを食べて、映画で笑おう！		9人
9月	BBQ	せせらぎの郷	13人
10月	防災訓練	能美市防災センター	13人
	バスハイク	金沢市内	7人
12月	ありがとう 2019年！つばさ忘年会	なごみの郷	12人
	お楽しみ会		10人
1月	新年会	なごみの郷	8人
2月	委託作業と串町大雛人形展へいこう！	芸遊塾	6人
3月	防災訓練 DVD 鑑賞「防災の備えと意識」	なごみの郷	12人

総延利用者数では冬季の気候の変動により12月より2月末まで体調を崩される利用者が増え利用者数が激減しましたが、結果的には平成30年度4,419人に対し令和元年度4,674人と増数になりました。半面、平均工賃支給額については、就労継続支援B型事業で昨年度の11,157円から今年度10,516円の減になりました。生活リズムを整え社会性の幅をひろげることを目的に引き続き担当制を行いきめ細やかな支援を行い、行事・販売活動にも積極的に参加することができました。

（文責：小川）

4 就労支援

令和1年度は障害者職業センター、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、相談支援専門員、ご家族、行政・医療機関等と連携をとり計9名の就労支援を行った。内訳として、令和元年度特別支援学校卒業予定者就労アセスメント実習評価2名、施設内作業に従事し職業準備性を高める訓練者5名でした。就労移行支援特別プログラムは、ハローワーク同行、個別SST、企業見学、就労支援実践セミナー、合同面接会の同行支援を行った。また、就労準備として（株）リクルートのKnowbeソフトを活用しながら、ビジネスマナーや面接練習、履歴書の書き方などをグループSSTで行い、利用者同士での

意見の交換やアドバイスをを行い、お互いに意欲を高めていった。

就労支援員は、南加賀就労支援強化連絡会就労支援勉強会、障害者雇用連絡会議、特別支援学校就労セミナー、就労支援に関わる研修等の参加を通して情報交換を行い知識の向上に努めた。今年度の課題であった職場体験の受け入れ企業を開拓し一般就労に向けての模擬体験の機会を設け実体験から学び具体的な支援については、チャレンジワークを行う準備の企業見学を行った。

(令和2年度に向けて)

就労支援プログラムに関して、チャレンジワークなどで職場体験を行い、就労模擬体験の個別支援やグループ SST をしながら一般就労にむけて支援していく。そして障害者就業・生活支援センター、ハローワーク等と連携し求人探しから、面接、就職、そして、その後の安定した勤務に定着できるように支援する。

令和元年度就労移行登録者就労率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	2	2	3	3	2	2	1	2	2	1	2	1
就労者数 就職者+就労定着支援者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(文責：金谷)

5 作業の概要

(1) 菓子製造販売部門

(令和1年度の主な動き)

- ・10月の消費税増税に伴い、いりがしの販売価格(税込)、作業の時給等の見直しを行った。
- ・出張販売、企画販売、委託販売では、こまつ観光物産ネットワークの正会員になり、空の駅こまつ、ぶっさんや、安宅ビューテラスに委託販売を行った。又、新たにイオンモール新小松内わくわく広場、小松市社会福祉協議会、アルプラザ平和堂等にと自主製品の販売箇所を増やすことができた。

今年度も企業やイベント等の出張販売を行い、多くのお客様に自主製品のPRを行った。そして、各企画販売や企業等からの多くの注文を受け納品した。小松市・能美市の保育園からひないりがしの注文を頂き作業の確保と工賃支給ができた。

- ・自主製品の各商品に菌体検査を行い、栄養成分表示を明示することができるよう取り組んだ。

(文責：北島)

<大口受注>

注文者	受注数	備考
コマニー株式会社、クラスター株式会社	862	いりがし各種
あおば保育園	70	のりポン
那谷寺	10	おてまセット
合計	942	

<出張販売会>

開催月	販売会内容	開催場所
年4回	小松市役所販売会	小松市役所
4月	メンタルヘルスボランティア総会	しらさぎ館地域交流センター
5月	藤見の会	公会堂
6月	なごみ祭	なごみの郷
7月	キッズフェスタ	小松市民センター
	ジェイ・バス サマーフェスティバル 2019	Jバス株式会社
8月	コマフェス	コマニー株式会社
	小松市民病院棟 夏祭り	小松市民病院
9月	福祉ふれあいフェスティバル in こまつ 2019	小松ドーム
	スマイル木場潟 2019	木場潟
10月	小松大学 学園祭(青松祭)	小松大学
	憩いの森 秋の祭典	小松市憩いの森
11月	北浅井町公民館祭り	北浅井町公民館にて
	第66回小松市社会福祉市民大会	小松市民センター

<委託販売>

開催月	販売会内容	開催場所
1月	コマフェス@東京事務所	コマニー株式会社 東京事務所
	(えびポン・のりポン・グリーンポン)	
3月	NOPPOKUN 春のツナガル・マーケット	NOPPOKUN
	(えびポン・のりポン)	

	常設販売場所	販売内容
7月～	安宅ビューテラス、 空の駅こまつ、ぶっさんや	加賀いりがしセット、いりがし各種 弁慶ぼんせん
9月～	イオンモール新小松内わくわく広場	加賀いりがしセット いりがし各種
10月～	小松市社会福祉協議会	いりがし、ぼんせん各種

<企画販売> 敬称略

- 5月 皐月キャラバン (いりがし注文 1個 100円 おてまセット 500円)
コマニー株式会社 新入社員 23個
- 8月 風鈴キャラバン (いりがし注文 1個 120円 おてまセット 600円)
こまつ看護学校、小松大谷高校、公立小松大学、
小松ソフィア病院、市民病院、デュプロ株式会社…95個
コマニー株式会社・クラスター株式会社 …853個 合計 948個
- 12月 ゆきんこキャラバン (いりがし注文 1個 120円 おてまセット 600円)

小松ソフィア病院 101 個、個人 60 個

合計 161 個

3 月 雛いりがし受注 (いりがし受注) 40g : 120 円、13g : 70 円、200g : 300 円

雛いりがし受注者	受注数	雛いりがし受注者	受注数
利用者	21	能美市保育園(個人を含む)	51
小松市保育園(個人を含む)	138	合計	210

(令和2年度に向けて)

- ・引き続き、自主製品の PR や販路拡大のための営業や販売会・企画販売等を行い、利用者の方に安定した工賃や作業を提供していきます。
- ・利用者の方が各作業枠に入りやすいよう、働きやすい環境づくりや方法を一緒に考え努めていきます。

(2) ダイニング部門

- ・喫茶

(令和1年度の主な動き)

喫茶ミーティングを月1回開催し、喫茶従事者で意見交換している。作業で困っていることややってみてみたいことを話し合い、喫茶従事者とともに作業環境を整えていった。

また、昨年度より進めていたシフォンケーキ製造を火曜日と木曜日に作業を定期的に行い、利用者の作業を増やしてきた。シフォンケーキは、喫茶ウッディで販売のほかに小松市社会福祉協議会での委託販売を始め、販路を少しずつ拡大していった。そして、季節ごとのデザートを限定販売した。

(令和2年度に向けて)

- ・シフォンケーキを定期的に製造し、プレーン以外の種類も増やしていく。
- ・作業時間を伸ばし、利用者の作業、工賃を上げていけるようにする。
- ・地域交流の場として喫茶ウッディを利用して頂けるようメニュー充実していく。

(文責：金谷)

(3) 給食配食弁当部門

(令和1年度の主な動き)

通常の配食以外に、12月に小松教区坊守会より26食の弁当の注文があった。

新規利用者が増えたものの、大きな食事利用にはつながらなかった。又、新規配達先も増えた。今後も可能な限り新規開拓を目指す。

10月には南加賀保健福祉センターより講師を招き就労支援センターつばさの利用者及び職員を対象とした第17回の食品衛生講習会を行い、手洗い実習等、特に衛生面の徹底を図った。また顧客満足度向上のため昼食(給食・弁当)利用者のアンケート調査を3月に行った。

(令和2年度に向けて)

- ・地域の必要な方へ弁当を配食する。弁当注文には個別に(高齢者用等・価格は相談可)対応する。
- ・厨房の現場が作業従事者にとって安心して作業に取り組めるよう環境を整え、必要な利

用者には、個別で作業内容や時間を考慮し対応する。

- ・月1回の厨房ミーティング、厨房内の害虫駆除(ゴキブリ、ネズミ)を実施する。
- ・南加賀保健福祉センターから講師として招き、食品衛生講習会を年1回実施する。
- ・年2回の身体測定の結果から利用者の必要栄養量を算出し、評価する。
- ・年1回昼食利用者へのアンケート調査実施(7月予定)。結果を食事の提供に活かし顧客満足度の向上を目指す。(文責：山田)

昼食販売実績推移表

	29年度	30年度	令和元年度
給食	1,706食	1,628食	1,454食
館内(弁当)	4,392食	5,608食	4,832食
くろゆり	1,262食	1,016食	725食
はまかぜ	1,473食	1,493食	881食
山口分場	—	—	761食
夢や	440食	540食	534食
こまつ看護学校	438食	403食	356食
南加賀保健福祉センター	136食	83食	50食
その他(一般)	1,777食	1,663食	1,700食
合計	11,624食	12,434食	11,293食

(4) 委託作業

〈小松市からの委託〉

4月 納税課より口座振替依頼書の4つ折を10,000部請負った。

5月 ふれあい福祉課より小松市内の240町内会の数種類の書類、ポスター、世帯数分のパンフレットを仕分けて紐でしばる作業を請け負った。

〈企業からの委託〉

山岸紙器(株)の箱折りが会社側の都合により中止となる。その後、10月から沖田産業(株)のコードの袋詰め、伝票のPCスキャン作業を請け負った。

〈古紙リサイクルステーション〉

小松市との委託契約を更新し「古紙リサイクルステーション3号店」の管理運営を行った。年々、取扱量が減少した。また、取り扱えないリサイクル品や一般ゴミの放置、古着の物色等の処分や整理整頓の為だけの作業は継続して行っている。

年間を通して市役所のエコロジー推進課と連携してマナー違反の対応をしたが状況が改善されることは無く、地域の方々へ周知する方法が今後の課題となった。

古紙リサイクルステーション取扱量

種 類	平成 30 年度	令和 1 年度
段ボール・牛乳パック	7,820 k g	8,040 k g
新 聞	7,090 k g	6,540 k g
雑誌・チラシ	17,020 k g	15,510 k g
合 計	31,930 k g	30,090 k g

〈アクリルタワシ〉

昨年度と作業従事者、個数に変化はなく、はまかぜからの注文がほとんどである。

〈リサイクル分別〉

- ・なごみの郷館内の缶・ビン・ペットボトルを毎週火曜日と金曜日に分別を行い月 1 回に「サービスセンターあしだ」へ運搬している。

(令和 2 年度に向けて)

- ・小松市より委託されている“古紙リサイクルステーション 3 号店”の利用マナーを小松市と連携して周知徹底を図りながら運営管理を行う。
- ・登録をとしての最初のステップや作業と作業の合間として委託作業を行っている。希望する利用者に充実して提供ができるのか。量を確実に安定して確保していくことが課題となる。また利用者のストレンクスを生かした作業が提供できるよう支援し、次のステップへ繋げていく。

(文責：金谷)



おかずの盛付け最中 給食配食部門



ハンドドリップにこだわる珈琲 喫茶部門

令和1年度作業部門別収支内訳書

単位：円

科目名	給食	喫茶	菓子	アクリル たわし他	リサイクル 分別	エコステ 清掃	その他の 委託	合計
収入の部計①	5,458,680	716,970	1,570,220	90,409		600,000	214,930	8,651,209
前年度収入	6,030,790	721,355	1,484,876	55,246		580,000	136,239	8,983,585
材料費								
材料仕入高	3,581,551	256,450	788,731	13,309			734	4,640,775
労務費								
利用者工賃	1,222,478	371,718	702,736	36,904	52,500	316,001	317,925	3,020,262
外注加工費								0
経費								
福利厚生費	34,850							34,850
消耗品費	165,426	23,482	127,003			5,485	10,312	331,708
水道光熱費	201,704		32,423					234,127
通信運搬費	286		7,050				994	8,330
修繕費								0
雑費			1,060					1,060
租税公課	148,873	26,072	42,824	2,466			29,634	249,869
支出の部計②	5,355,168	677,722	1,701,827	52,679	52,500	321,486	359,599	8,520,981
前年度支出	5,836,153	664,135	1,466,187	88,530	51,420	271,650	249,000	8,627,075
余剰金①-②	103,512	39,248	△131,607	37,730	△52,500	278,514	△144,669	130,228

6 家族交流会

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、家族交流会を行わず、職員からご家族にご連絡し、「つばさ」での様子とかをお知らせしながらご相談に応じる形で行いました。

7 自動車総連よりノートパソコン寄贈

9月20日（金）自動車総連（全日本自動車産業労働組合総連合会）より就労支援センターつばさへノートパソコン5台が寄贈されました。これまで自動車総連の皆様は、福祉社会の実現に向けて積極的に取り組む福祉活動に取り組み、今年度は利用者の皆様が将来に希望を持ち毎日の生活を有意義に過ごすため、また、社会への自立の一助となればとの思いを込めて、パソコン5台を寄贈して頂きました。自動車総連の皆様の温かい心を励みに、これからも共生社会の実現と地域福祉向上に向けて一歩ずつ歩みを進めて参りたいと思います。誠にありがとうございました。

8 小松市立松陽中学校職場体験学習の受け入れ協力

相談支援センターなごみと協力し特別支援学級の生徒さんの職場体験学習の受け入れをしました。生徒さんの能力等に合わせたスケジュールを立て時間数、日数など打ち合わせを重ね有意義な体験学習になりました。

9 小松大谷高等学校 ボランティア部活動

小松大谷高等学校ボランティア部から2名の生徒の方が、利用者の方と一緒に作業

活動をしました。その交流の中で多くの「気づき」「学び」をして頂き、利用者の方も楽しい時間を過ごすことができ有意義な時間になりました。

(ボランティア活動の感想)

Aさん 皆さん自分の好きなように過ごされながら決まった時間に仕事をされてメリハリがすごいなと思った。一人一人が時間をかけて一生懸命されていて、私も「時間がかかっても最後まで頑張ろう」と思った。

Bさん 利用者一人一人役割があり、それをしっかりこなせていてすごいと思った。挨拶やささいな事など当たり前のことを話し合いをしながら勉強していて、コミュニケーションは社会に出ても大切だなと思いました。

1 0 地域交流

『人と人をつなごうプロジェクト』明後日朝顔を通して、地域の方とつながることができました。その一例としてサイエンスヒルズこまつに、「つばさ」で育てた明後日朝顔の苗を小学生と幼稚園のみなさんと一緒に植えることができました。

1 1 第12回 明後日朝顔全国会議 2019in 小松

6月2日(日)第12回 明後日朝顔全国会議 2019in 小松 本折町本光寺にて開催されました。それに向けて「くろゆり」と「つばさ」で共同制作してきた看板を掲げました。そして第39回ふれあい福祉アート展にてその共同制作した看板がPOPアート賞を受賞しました。

(令和2年度に向けて)

基本方針

- 1 ‘安心→自信→回復’を目指して利用者のニーズに応える支援を行います。
- 2 就労移行支援事業を廃止し、就労継続支援B型事業の一本化を図り堅実な運営と経営の安定に努めます。
- 3 利用者が継続して作業ができるようきめ細やかな支援を行います。

重点実施事項

- ① 新型コロナウイルス感染症の対策を関係機関と連携して行い、利用者職員が安心して過ごせるよう努力します。
- ② 自主製品の販売が落ち込むことが想定される中、利用者の満足できる作業時間の提供と工賃が支給できるよう自主製品の販路拡大に取り組みます。
- ③ 地域のイベント・行事が激減し、人と人がつながっていくことが難しくなる半面より一層重要になってくることが予想されますので地域福祉の向上に貢献できるよう努めます。
(文責:小川)

《就労継続支援B型事業、地域活動支援事業》
能美地域活動センターはまかぜ

1 事業概要

能美地域活動センターはまかぜは、就労継続支援B型事業（定員20人）・地域活動支援センター事業（定員10人）を行う事業所として7年目を向かえた。8月には、はまかぜ山口分場を開設し新たな能美地域の就労支援拠点を設置し、地域の利用者の就労環境の充実に努めた。併せて相談支援センター機能を移転、人員を充足させ、各関係機関の連携を強化と共に、就労・生活等の自立に向けた支援に取り組む。

(1) 就労継続支援B型事業

(サービス内容)	心身面で一般就労に困難さを抱える方に、福祉サービスにおける就労・生産活動などの機会の提供と知識・能力の向上、一般就労に向けての必要な支援をする。
(定員)	20人（内、山口分場10人）
(利用料)	1日584円（個人の所得によって上限がある）
(サービス提供日時)	月～金曜日（午前9時～午後4時まで）
(利用期間)	なし
(作業内容)	印刷業務：名刺、年賀状、機関誌、チラシ類、封筒 他 内職業務：梱包作業、箱作業、封詰め作業、部品仕分け 他 自主製品：カブッキー・動物シリーズぼち袋 他 施設外就労：清掃作業
(その他)	昼食・送迎サービス

(2) 地域活動支援センター事業（能美市・小松市委託事業）

(サービス内容)	心身面で日常生活に不安を抱える方に創作、余暇活動相談などを通じて、その方らしい地域生活への活動を支援する。
(定員)	10名
(利用料)	4時間以下 265円 4時間を超えて6時間以下 344円 6時間を超えた場合 403円
(サービス提供日時)	月～金曜日（午前9時～午後4時まで）
(利用期間)	なし
(内容)	生活相談、創作・余暇活動（パソコン、レク行事〔カラオケ食事会、散策など〕）、生産活動、又ほっと一息の居場所としても活用
(その他)	昼食・送迎サービス

2 事業実績

(1) 登録者の推移

①人数

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
就労継続支援(B型)(定員20名)	43人	45人	44人	45人	46人	44人
地域活動支援事業(定員10名)	3人	3人	3人	3人	2人	2人

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年度平均
48人	48人	49人	52人	52人	52人	568人	47.3人
2人	2人	3人	3人	3人	3人	32人	2.7人

②市町村登録者数

市町村名	能美市	小松市	その他	合計
延人数	401人	182人	17人	600人
構成比率	66.8%	30.3%	2.4%	100%

③年代別登録者数

令和2年3月31日現在

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	計
男性	0人	6人	7人	10人	11人	5人	39人
女性	0人	3人	2人	7人	4人	0人	16人
計	0人	9人	9人	17人	15人	5人	55人

(2) 延利用者・利用率の推移

就労継続支援B型事業

開所月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
中ノ江	369人	410人	369人	420人	167人	215人
山口分場	—	—	—	—	218人	219人
開所日数	21日	22日	22日	24日	22日	21日
稼働率	87.9%	93.2%	83.9%	87.5%	87.5%	103.5%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年度平均
205人	211人	232人	228人	249人	267人	3,342人	278.5人
238人	256人	209人	204人	174人	228人	1,746人	218.3人
23日	22日	23日	21日	19日	22日	262日	21.8日
96.5%	106.0%	96.0%	103.0%	111.5%	112.5%	99.5%	

地域活動支援センター事業

開所月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延人数	28人	21人	21人	23人	25人	20人
開所日数	21日	22日	22日	24日	22日	21日
稼働率	13.3%	9.5%	9.5%	9.6%	11.4%	9.5%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年度平均
22人	21人	9人	27人	29人	33人	279人	23.3人
23日	22日	23日	21日	19日	22日	262日	21.8日
9.6%	9.5%	3.9%	12.9%	15.3%	15.0%	10.8%	

(3) 平均工賃の推移

単位：円

支給月	4月	5月	6月	特別賞与	7月	8月	9月
総支給額	231,423	182,930	206,346	368,598	219,445	194,738	226,658
平均工賃	7,232	5,227	6,253	8,990	6,858	5,564	6,476
支給人数	32人	35人	33人	41人	32人	35人	35人

10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末賞与	年度平均
231,532	277,706	301,310	299,823	215,057	318,787	647,500	
6,431	6,773	7,726	6,973	5,120	7,775	13,214	7,187
36人	41人	39人	43人	42人	41人	49人	44.9人

令和1年度の新規登録者は19人、登録終了者は11人（サービス事業変更4人、その他7人）であった。随時見学・体験を早々に対応、受け入れ、各関係機関と協働し利用者のニーズに沿った利用に応えられるよう努めた。（文責 高田）

印刷部門

(令和1年度の主な動き)

- ◇名刺— 例年時期の各関係機関への印刷作業従事者同行の営業を行い、能美市、小松市、小松市民病院、他関係機関の方から例年通り注文を頂いた。また、能美市民生委員の交代があったことにより、例年以上の注文を頂いた。
- ◇年賀状— カタログ作成に6月からとりかかり、10月初めに各所に営業を行った。見た目をわかりやすくするためにカタログ内容の改善も行った。新規の注文を増やすために、印刷作業従事者同行の営業に加え、職員によるカタログの配布を行った。結果、前年度を上回る受注数となった。
- ◇ぼち袋— カブッキーぼち袋は道の駅「こまつ木場潟」や小松空港の「空の駅」、「うらら」などで販売を行った。
- ◇その他— 能美市より JDD パンフレット、日本赤十字社献血粗品作り、イベントチラシ、パープルリボン・オレンジリボンの作成、シール印刷、表彰状（和紙）の印刷、川北町より自殺予防啓発ミニチラシ・粗品づくり、メンボラ友の会より会報、小松市特別支援教育振興会機関紙、北浅井町公民館報、苗代・蓮代寺地区福祉だより、蝶屋福祉だより、なごみの郷事業概要、封筒などを受注印刷した。さらに個人様よりの印刷作業を複数、受注印刷した。

(令和2年度に向けて)

前年度は利用者からの意見を聞く機会を増やし、その意見を実行することで利用者の意欲向上につながった。今年度も引き続き、利用者からの意見を聞きながら、お客様の多様なニーズに応えることができるよう、利用者のパソコン操作や商品作成のスキルアップを目指していく。その為にも利用者が様々な作業に従事する機会を設け、出来る事を増やすことで自信をもって作業に取り組めるようにする。

職員、利用者双方の力と知恵を合わせて工賃・作業量の向上を目指し、それに加え新しい自主製品の開発にも取り組んで、さらなる販路拡大を目指していく。(文責 前出)

項目	30年度	R1年度	項目	30年度	R1年度
年賀状	11,919枚	12,790枚	会報・機関誌	10,000枚	9,100枚
名刺	18,440枚	26,950枚	北浅井町公民館報	4,455枚	4,700枚
ぼち袋セット	479個	288個	JDDパンフレット	1,300枚	1,650枚
チラシ・パンフレット類	5,591部	5,874部	なごみの郷事業概要	100部	100部
川北町自殺予防グッズ	3,000個	2,000個	なごみ通信	2,840枚	2,850枚

内職部門

(令和1年の主な動き)

◇(有)前田ケース

今年度はケーキBox・バレンタインBoxの箱折、袋入れの作業を行った。同じような作業内容の商品を受けたことにより、作業効率も良くスムーズに作業に取り組むことができた。納期に間に合わせるために進捗管理をして、利用者の作業に対する意識やモチベーションの向上につながった。また、個々の特徴に合わせて作業を割り振り、よりストレスなく作業に取り組むことで生産能力の向上を図った。

◇三和物産(株)

葬儀用品の作業を行う。アメニティセットや箱の組立、セット物の詰め作業、お香の袋詰めやケース詰めなど多種多様な内職作業を年間通して多く請け負うことができ、利用者個々の得意不得意を捉えた作業提供をしつつ、不得意な作業にも工夫をすることで不得意な作業にも取り組めるようになった。職員が行っていた作業の資材準備や後片付けなどを利用者と一緒に行うことで、当事者意識が生まれ、作業のスリム化にもつながった。

◇宏文印刷(株)

三和物産(株)より前年度から引き続き骨上箸の作業を請け負うことができた、5月から宏文印刷(株)からの委託に移った。前年度より作業量が多くなり、年間を通して利用者全員の作業となった。

◇J A小松市

J A小松市より委託を受け「マイルドトマトカレー」、「ヘルシートマトカレー」、「竹の子ごはんの素」の3種類のレトルトパウチ箱詰め作業を行った。職員による検品に加え、利用者による作業ごとの検品も引き続き行った。利用者全員が各作業にあたるような作業となった。

内職納品数

商品名	納品数	
	平成30年度	令和1年度
マイルドトマトカレー	38,622 個	28,087 個
ヘルシートマトカレー	3,172 個	2,320 個
プレミアムトマトカレー	1,200 個	0 個
竹の子ごはんの素	6,285 個	5,990 個
納品総数	49,279 個	36,397 個

◇コマニー(株)

「SL-ポールウワドメ」、「SL-ポールシタドメ」、「SL-MFカナグ」、「PL-ポールウワドメ」、「PL-ポールシタドメ」5種類の作業を行う。袋詰め以外にも袋詰めを箱詰めする作業が加わった。利用者にも検品をしてもらい、自分の行った品物を一緒に確認することを続けることで、よりミスのない作業を心がける意識が強くなった。

内職納品数

金具名	納品数	
	平成30年度	令和1年度
SL-ポールウワドメ	680 個	460 個
SL-ポールシタドメ	836 個	500 個
SL-MFカナグ	2,016 個	2,112 個
PL-ポールウワドメ	1,160 個	1,180 個
PL-ポールシタドメ	1,180 個	1,220 個
納品総数	5,872 個	5,472 個

◇デコレーションクリップ

創作活動と作業を組み合わせ、販売会などで販売する自主製品を作成した。利用者のアイデアで様々な作品となり、人気のある作業となっている。

(令和2年度に向けて)

三和物産(株)、宏文印刷(株)、JA小松市、コマニー(株)などの各取引先との連携・協力を密にし、より信頼をもっていただけるよう、正確な作業や欠品の少ない納品になるよう計画的に作業の流れを作り、合わせて創作活動と作業を組み合わせ新たな自主製品の開発を行っていく。(文責 江端)

施設外就労

(令和1年度の主な動き)

◇特別養護老人ホーム ボニジュール根上苑〔入浴清掃作業〕

利用者の工賃と一般就労等に向けたスキルを向上させるため、施設外就労への取り組みを行った。今年も年間を通じて作業にしっかりと利用者が入ることができた。また、新しい利用者も入っており、丁寧な清掃を作業時間内に終えるよう自己点検を行いながら清掃作業に取り組んだ。

(令和2年度に向けて)

継続的に利用者が安定して従事し、作業の幅や質向上、従事日数が増えていくよう今後も支援する。また施設外就労に取り組む従事者数を確保し、新たな施設外就労への取り組みもしていきたい。
(文責 高田)

令和元年作業部門別収支内訳書

単位：円

科目名	販売会他	印刷	J A	ホニョール	コマニー	前田ケース	三和物産	他内職	合計
収入合計①	193,654	3,410,097	311,063	177,500	119,092	186,875	1,462,232	46,105	5,897,618
当期材料	154,433	1,484,402		0	0	0	151,202	2,592	1,792,629
利用者工賃	22,475	1,662,797	263,354	171,875	60,210	106,090	1,173,595	92,859	3,553,255
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外注加工費	450	76,120	0	0	7,400	0	74,055	27,327	185,352
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	4,392	77,142	7,055	4,026	2,701	1,046	33,165	4,239	133,766
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計②	181,750	3,300,461	27,409	175,901	70,311	107,163	1,432,017	127,017	5,665,002
余剰金①-②	11,904	109,636	40,654	1,599	48,781	79,739	30,215	△80,912	232,616

その他

(令和1年度の主な取り組み)

- ・利用人数の増加及び作業メニューの充実、資材の増加に伴い、更なる就労環境拡充のため、8月に同市山口町に「はまかぜ山口分場」を開設した。新たな地域の就労支援拠点としてスタートさせ、下半期も順調にはまかぜ全体の利用数が伸びてきている。また作業量やメニューの拡充も進み、中でも次年度に向けてJA小松市より業務を引き継いだ「大麦ご飯の素」精麦加工・製品販売の作業体制を整えることが出来た。
- ・地域への障害福祉の理解、啓発の一環として、今年度も「ぼくらの街フェス in 能美」や「能美市ボランティアフェスティバル」など地域活動に参加した。また能美市「こころに寄り添い合う人づくり講座」企画において、精神障がい者への理解の取り組みとして民生委員の方々などに対して、地域で生活する当事者の生活のしづらさなど当事者の経験談を通して理解への一助とした。当事者の方も発表を通して地域で生活する上での自信、役割を感じられる機会となった。
- ・市行政、市社会福祉協議会、南加賀保健福祉センター、相談支援事業所等と連携して、一歩を踏み出せない障がい者、引きこもりの方などへのニーズに応えるため、相談支援機能、地域活動支援センター機能などを活用し地域社会に繋げるための支援を行った。
- ・SST、グループワークや、就労セミナーなど一般就労に向けた活動へ、参加を通して社会性の幅を広げる活動となった。
- ・年間を通して行事、余暇活動を取り入れ日々の生活の潤いや他の方々との親睦を深め、仲間意識、社会性を高められるよう、利用者が実行委員になり季節行事を毎月実施した。

能美地域活動センターはまかせ山口分場 開所式



社会福祉法人なごみの郷創立20周年記念事業も兼ねて令和元年8月20日（火）午前10時より「能美地域活動センターはまかせ」の新たな活動拠点である「山口分場」の開所式が関係者80名の参加で執り行われました。

式次第に添って荒田理事長の挨拶の後、山口分場の開所に至った経緯説明があり、引き続き施設の整備工事に携わって頂いた関係者と20年の間お世話になった個人と団体に感謝状を贈らせて頂きました。来賓には能美市長をはじめ近隣の行政や福祉関係者と地域の方々にもご出席を頂き盛大な開所式を行うことが出来ました。

式後には記念シンポジウム「なごみの郷創立20年を語る～地域の中で歩んだ私たち～」と題して公立小松大学の北岡学部長の司会進行で法人創立から20年を知る利用者3名職員2名が、これまでであった自分たちの事を話すことでなごみの郷の歩みを出席者に理解頂けたような時間となり、新時代への新たなスタートが出来たように思います。

山口分場 館内



室内 廊下



作業中の風景



食堂



相談室

3 令和2年度に向けて

基本方針

- 1 思いやりの心を第一に利用者、その家族に寄り添う専門的なサービスを提供し、利用者が安心して豊かな生活が送れる活動を進めます。
- 2 利用者の仲間づくりの場と、お互いに研鑽し成長しあえる活動を進めます。
- 3 障がい者福祉の向上の視点から能美市の「我が事丸ごと」の地域づくりの役割を進めます。

重点実施事項

- ① 山口分場の単独事業（定員20人）への変更を行い、主たる事業所であったはまかぜも定員20人として運営し、社会資源の充実として地域の障がい者のニーズを受入れ、就労環境の場を広げていきます。
- ② 利用者の工賃向上と作業の満足度を向上させるため、新たな作業メニュー、作業の創意工夫に努め、多様な就労ニーズの要望に応えます。またJA小松市より業務を引き継いだ、大麦精麦製品販売の作業を軌道に乗せ、作業拡充の柱となるよう力を入れていきます。
- ③ 利用者同士の交流や家族への支援など、抱える課題など共有していけるよう、行事や交流会（当事者発表など）、勉強会などの充実を図ります。
- ④ 行政、関係機関、相談支援事業所と連携して、一步を踏み出せない障がい者、引きこもりの方などへのニーズに応えるため、地域活動支援センターの機能などを活かし支援します。
(文責：高田)

《共同生活援助事業（介護サービス包括型）》

グループホームなごみ・しらさぎ

1 事業の概要

(目的) 共同生活援助事業は、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うことを目的としている。

<グループホームなごみ>

(定員) 10人

(家賃) 月額28,000円(但し、電気水道代及び食事代は、自己負担)

※家賃助成制度あり

<グループホームしらさぎ>

(定員) 6人

(家賃) 月額23,000円(但し、電気水道代及び食事代は、自己負担)

※家賃助成制度あり

<共通>

(利用料) 区分と所得に応じて各自異なる。

- (共益費) 入浴代、洗濯代、共通利用部分電気代等 月額2,000円
 (食事) 基本的には自炊。(必要に応じて世話人、生活支援員が支援する)
 また、希望すれば、月～金の昼食、夕食は、給食サービスが利用できる。
 (駐車場代) 月額1,000円(なごみの郷駐車場利用者、自転車2台目から)

2 年代別利用者内訳(令和2年3月31日現在)

	40代	50代	60代～	計
男性	3人	2人	5人	10人
女性	0人	3人	1人	4人
計	3人	5人	6人	14人

3 利用状況

令和元年度グループホームなごみ・しらさぎの利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
退所	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
月末利用者数	15	15	15	14	14	14	14	14	15	15	15	14

グループホームなごみ定員10人、しらさぎ定員6人の内、平成31年4月1日時点で、なごみ9人、しらさぎ6人の計15人の利用であった。退去者は7月に1人、3月に1人の計2人、入居者は12月に病院より1人で、令和2年3月31日現在14人の入居者となっている。

4 主な日中の生活の場(令和2年3月31日現在)

- ・就労継続支援事業B型 5人
- ・生活介護事業 3人
- ・地域活動支援事業 1人
- ・病院デイケア 1人
- ・一般就労 1人
- ・該当なし 3人

5 利用者支援等

1) 行事及び活動

① 地域交流等

- ・北浅井町内会の町内一斉清掃の日に、利用者皆でなごみの郷館内の一斉清掃に参加している。
- ・年2回、9月と3月に防災訓練を行っている。9月は夜間の火災を想定し、実際に非常ベルを鳴らしての避難訓練を行った。館内憩いの間を出火場所とし、駐車場に避難した。3月は防災センターよりDVDを借りて見た。『みんなで守る！私たちのまち-災害への備えと助け合い』では身近な石川の災害を扱っており、近年多発する災害への関心を高めた。

② 利用者間交流

平日16:30～利用者同士の交流を図るため、「フレンズの会」を行っている。
 (フレンズの会の内容)

憩いの中に集まって歌を唄ったり、トランプや将棋などのゲームを行っている。時にはストレッチや近所をウォーキングするなどの軽い運動も取り入れている。

2) ミーティング

毎月1回、定例でグループホーム利用者全体ミーティングを行い、行事等のお知らせ

せや共同生活を行う上でのルール等を皆で話し合っている。今年度は、健康についてをテーマにして話し合いを行った。

月	種別	参加者	内 容
4	定例	10人	職員体制の紹介。タクシーチケットの更新手続きのお知らせ。市の集団健診の推奨。法人全体のゴールデンウィークの予定、及び、実家帰省の確認。5月の町内一斉清掃のお知らせ。
5	定例	12人	GH契約更新。外回り清掃。町内一斉清掃について。作業停電のお知らせ。なごみ祭の告知。こまつ看護学校実習生受け入れについて。ごみの捨てマナー。 ※終了後、喫煙者ミーティング（吸い殻当番について）
6	定例	11人	ゴキブリ団子の配布。消防設備点検のお知らせ。居室ワックスがけ大掃除の告知。《健康の話》虫歯予防月間。 ※終了後、喫煙者ミーティング（吸い殻当番について①）
7	定例	12人	GHの決まりごとR1年度版の配布。ワックスがけ大掃除の告知。立小便は軽犯罪です。《健康の話》熱中症 ※終了後、しらさぎミーティング（トイレのマナーについて）
8	定例	11人	共有部分のワックスがけ大掃除の告知。お盆の体制について。防災訓練の告知。《健康の話》食中毒 ※終了後、喫煙者ミーティング（吸い殻掃除当番について②）
9	定例 行事	13人	消防訓練とそのふり返り。共有部分のワックスがけボランティアの募集。GH玄関の暗証番号変更のお知らせ。外出の際の施錠徹底のお願い。 《健康の話》お休み
10	定例	12人	ふれあい福祉フェスティバル参加者募集。ごみの捨て方のマナー。夕食サービス利用者にアンケートのお願い。《健康の話》インフルエンザ。 ※終了後、しらさぎミーティング（トイレの備品代徴収について）
11	定例	12人	自立支援協議会当事者会の告知。インフルエンザ予防接種の負担金について、脱衣場のガスヒーター使用可能。不要な靴と傘の処分をお願い。小松大学の学生実習の受け入れについて。理事会開催日の告知。共有部分の使い方おさらい。喫煙室が談話室に変更。《健康の話》ホコリについて。
12	定例	12人	新規利用者の紹介。年末すすはらい大掃除のお知らせ。害虫対策における居室内の整理整頓と生ゴミの扱い。利用者間の金銭等の貸し借りについて意見交換。《健康の話》睡眠。
1	定例	11人	感染症の流行と予防対策について。R2年は何がしたいか2班に分かれて意見の交換。《健康の話》『昔の常識、今は非常識』
2	定例	12人	3月の防災訓練のお知らせ。10日の夕食はお雑煮。理事会開催日の告知。春の日の食談会の内容について。脱衣場ガスヒーターの使い方のおさらい。《健康の話》感染症予防について
	臨時	10人	新型コロナウイルス感染症について〈感染予防と拡大防止〉。
3	定例	12人	防災訓練の告知。春の日の食談会中止のお知らせ。新型コロナ肺炎についての注意喚起。毎朝の検温のお願い。

3) 個別支援

①日常生活の支援

- ・生活リズムを整えるための支援（朝の声かけ、1日の過ごし方の確認等）
- ・買物支援（生活に必要な物の購入の仕方等）
- ・金銭管理（福祉サービス利用支援事業の利用、生活費等の使い方の支援等）
- ・清掃支援（ゴミの出し方や居室の清掃、共有スペースの清掃 ※グループホームしらすぎのみ）
- ・清潔保持の為の支援（入浴・洗濯の声かけ、身だしなみの促し等）

②医療に関する支援

- ・服薬管理（服薬の確認等） ・受診同行

③個別面接及び相談支援

- ・個別支援計画面接 ・日中の相談支援
- ・21：30 まで世話人の配置を行い利用者の服薬管理及び支援や緊急時の対応

④家族支援

- ・家族からの相談対応

⑤関係機関との連携

- ・利用者に関わる機関や行政及び病院関係者と連携しながら支援を行っている。

6 令和1年度の動向

昨年度に引き続き、入居者が日々健康に過ごしていける様に健康診断の促しを行うと同時に月1回の合同ミーティングで健康についてのテーマを設け、話し合いを行った。また、快適な居室環境を整えていけるよう利用者個々に応じた支援を行った。

(令和2年度に向けて)

令和2年度は、安心して充実した生活を送れるよう、利用者個々の日中の過ごし方や体調面について話し合いながら、進めていきたい。

また、一人では不安なことでも皆と一緒に安心出来ることなど利用者同士の関りを通して学んでいける場や環境を提供していきます。 (文責：瀬戸)

《共同生活援助事業（外部サービス利用型）》

グループホーム弥生荘

1 事業の概要

(目的) 外部サービス利用型共同生活援助計画に基づき、必要に応じて受託居宅介護サービス事業者による受託居宅介護サービスを適切かつ円滑に提供することにより、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営む事ができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うことを目的としている。

(定員) 4人

- (家賃) 月額21,250円(2階2部屋)又は26,250円(1階2部屋)
 ※家賃助成制度あり (但し電気、ガス、水道代は自己負担)
 (利用料) 所得に応じて各自異なる。
 (共益費) 入浴代、共通利用部分電気代等 月額1,000円

2 年代別利用者内訳

令和2年3月31日現在の利用者は50代男性2人、60代男性2人の4人です。

3 利用状況

定員4人のところ、平成24年4月1日から令和2年3月31日現在、入退去の動向はなく4人が入居している。

4 主な日中の生活の場(令和2年3月31日現在)

- ・就労継続支援事業A型 1人
- ・就労継続支援事業B型 1人
- ・該当なし 1人
- ・病院デイケアと就労継続支援事業B型との併用 1人

5 利用者支援等

1) 行事及び活動

- ・年2回(9月、3月)に防災訓練を行っている。9月は火災による避難訓練を行い、3月はDVD鑑賞で災害時の行動について学ぶ。
- ・利用者間の親睦目的で12月に忘年会としてサガミへ行った。新年会も企画していたが感染症流行の為、中止となった。

2) ミーティング

毎月1回の定例で弥生荘ミーティングを行っている。行事の告知やその他のお知らせ、共同生活を行う上での決まり事、毎月違ったテーマの健康についての話し合い等を行っている。

月	種別	参加者	内 容
4	定 例	3人	職員体制の紹介。タクシーチケットの更新手続きについて。市の集団健診の推奨。法人全体のゴールデンウィークの予定、及び、帰省の確認。食事会のふりかえり。
5	定 例	3人	GH 弥生荘契約更新。外回り清掃の日程決め。2階部分の階段と廊下の清掃の話し合い。
6	定 例	3人	夏の居室大掃除の日程と掃除内容の話し合い。《健康の話》虫歯予防月間。
7	定 例	3人	夏の居室大掃除の日程と内容の確認。《健康の話》熱中症。
8	定 例	3人	3号室防音工事のお知らせ。9月の避難訓練の告知。お盆休みの体制について。《健康の話》食中毒について。
9	定 例 行 事	3人	避難訓練と振り返り。消防設備点検日の告知。《健康の話》お休み

10	定例	3人	インフルエンザ予防接種の負担金の話。増税に伴う電気料金の値上げのお知らせ。〈健康の話〉インフルエンザ
11	定例	3人	インフルエンザ予防接種の負担金について。ケーブルテレビの受信料について。〈健康の話〉ホコリについて
12	定例	3人	年末すす払い大掃除の日程確認。年末年始のなごみの体制について。忘年会について話し合い。〈健康の話〉睡眠
1	定例	3人	年末年始の感想。JAさんから頂いたお餅の食べ方の話し合い。《健康の話》『昔の常識、今の非常識』。
2	定例	3人	新年会について話し合い。防災訓練の告知。来年度の年間行事計画について話し合い。《健康の話》感染症予防。
3	定例	3人	防災訓練（DVD鑑賞と避難場所確認）。春の日の食談会中止のお知らせ。消防設備点検の告知。新型コロナ肺炎について。毎日検温の推奨。来年度の年間行事計画について

3) 個別支援

①日常生活の支援

- ・買物支援（生活に必要な物の購入の仕方等）・金銭管理（生活費等の使い方の支援）
- ・清掃支援（ゴミの出し方や居室の清掃、共有スペースの清掃）
- ・換気扇や棚の取付け等の対応

②医療に関する支援

- ・受診同行

③個別面接及び相談支援

- ・個別支援計画面接 ・電話及び訪問支援

④関係機関との連携

- ・利用者に関わる機関や行政及び病院関係者と連携しながら支援を行っている。

6 令和1年度の動向

今年度は、1室防音工事を行った。健康管理への声かけや、日常生活状況を確認しながら、個々に必要な支援を行い、合わせて外食企画など入居者同士の交流の機会を作り交流を図った。

（令和2年度に向けて）

令和2年度は、昨年度に引き続き、入居者同士の交流の機会を設けていきたいと思う。日常生活では、健康に生活していくためにも、健康管理に対する意識がもてるような取り組みを行っていき、引き続き今後の住まいについても話し合っていきます。

（文責：瀬戸）

《相談支援事業》

相談支援センターなごみ・相談支援センターはまかぜ

1 事業の概要

目的) 障害を持たれた方やそのご家族の福祉や生活全般に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を関係機関との連携を取りながら行うとともに、虐待の防止及びその早期発見、その他の障害者等の権利擁護のために必要な援助を行う。

利用料) 無料。

利用時間) 月曜日～金曜日(土・日・祝日、12/29～1/3はお休み) 9:00～17:30

(2) 事業の実施期間 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(3) 事業内容

- ・基本相談(小松市、能美市、川北町より委託)
福祉サービスに繋がっていない障害のある方、その家族への相談業務と必要な支援を行う。
- ・特定相談支援
福祉サービス利用者に対し、サービス利用計画の作成を行い、サービス調整や必要に応じて支援を行う。
- ・一般相談支援事業(地域移行・地域定着)
精神科病院からの退院支援、入所施設からの対処支援、その後の地域生活が定着するよう支援を行う。
- ・障害児相談支援事業
サービス利用計画書の作成を行い、サービス調整や必要に応じて支援を行う。

相談支援センターなごみ

障害者相談支援事業

① 年間利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談実人数	69	64	63	68	65	68	69	53	64	72	63	67	785
相談件数	186	170	155	174	161	170	169	129	156	144	140	148	1,902
計画相談件数	46	46	36	48	46	39	43	30	40	43	36	40	493

② 年間支援方法

訪問	来所相談	同行	電話相談	個別支援 会議	関係 機関	その他	合計
598件	27件	93件	613件	139件	325件	107件	1,902件

③ サービス等計画作成対象者

令和2年3月31日現在

年齢	～10代	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
男性	10人	4人	5人	7人	10人	13人	20人	69人
女性	4人	1人	9人	7人	7人	12人	13人	53人
計	14人	5人	14人	14人	17人	25人	33人	122人

④ 小松市障害程度区分認定調査数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2件	1件	6件	3件	0件	2件	1件	1件	1件	3件	3件	5件	28件

(令和1年度の主な動き)

今年度は昨年度に引き続き児童のケース依頼が多く、昨年度より児童は10名も登録が増えている。背景としては、乳児健診などから早期につながり、支援に入るケースが増えている。支援の流れが確立してきていると考えられる。そのため今後も児童は増加していくことが予想される。一方で事業所の不足により、調整が困難なケースが多く、多事業所での調整や他市へ依頼するケースも少なくなかった。また精神障害のある方の支援を多くしていることから、家庭内での暴力行為や触法関係など困難ケースの依頼もあった。利用者本人に関わる一方で家族調整が必要なケースも多く、育児や介護など家族が不安を訴えそれに対応することも多かった。今後はより一層包括的な支援が求められる中、今年度の目標であった地域生活支援拠点の整備に向け、小松市や他の相談支援事業所、関係機関などと話し合いを継続している。

<行政、他機関との連携>

相談支援専門員としての動きやケースを通しての共通理解などを深め、行政や病院、学校、他の事業所との連携を強化し、チームとして活動していけるようケース報告やケース検討を行った。また、相談支援の在り方や今後の相談支援の体制などについての話し合いを行った。

- ・毎週金曜日 ふれあい福祉課と合同でケース報告、新規ケースの依頼、情報交換
- ・小松市相談支援事業所連絡会 月1回
- ・南加賀相談支援事業所連絡会 年2回
- ・その他ケースにあわせたケア会議の出席や情報共有
- ・高齢者総合相談支援センターとの合同勉強会
- ・小松特別支援学校進路連絡会
- ・地域療養支援事業への参加

<障害者自立支援協議会>

年度目標をたてながら課題整理や年度計画達成に向けた活動を行った。

- ・全体会 年1回 5月に開催 ※今年度は2月に臨時全体会にも出席
- ・運営委員会 年4回 ※今年度は新型コロナウイルスの影響で3月は中止
- ・当事者の声を聴くための仕組み作りを考える会リーダーとして出席 月1回
年2回の当事者会の開催
- ・精神障害者等地域生活支援研究会 年1回

- ・福祉つながりネットワーク出席 年1回
- ・石川県自立支援協議会ネットワーク会議出席 年2回

(令和2年度に向けて)

障害を持たれた方やそのご家族の、福祉や生活全般に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援など、関係機関や地域との連携を取りながら、その方が地域でよりよい生活が送れるよう必要な支援を行います。

・重点実施事項

- ① 地域生活支援拠点づくりについて、行政、関係機関との連携を行い、包括的な相談支援体制について協議します。
- ② 自立支援協議会への積極的な参加により、地域課題整理や資源開発に向けた活動を行います。
- ③ 各種研修会や事例検討会などの参加、また個々のケースを通じた連携などにより、専門職としてのスキルアップをはかります。

(文責：堂前)

相談支援センターはまかぜ

① 年間利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談実人数	29	34	32	32	27	34	41	44	44	38	36	30	421
相談件数	65	74	72	68	58	69	84	96	114	83	77	68	928
計画相談件数	18	14	18	9	12	15	16	21	25	18	24	18	208

② 年間支援方法

訪問	来所相談	同行	電話相談	個別支援 会議	関係 機関	その他	合計
574件	206件	111件	520件	33件	11件	0件	1,455件

③ サービス等計画作成対象者

令和2年3月31日現在

年齢	～10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
男性	2人	8人	10人	14人	17人	4人	55人
女性	0人	0人	4人	7人	5人	3人	19人
計	2人	8人	14人	21人	22人	7人	74人

④ 能美地域障害程度区分認定調査数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3件	3件	2件	2件	2件	2件	2件	4件	3件	1件	1件	3件	28件

(令和1年度の主な動き)

4月より相談支援専門員の配置を常勤2人体制として相談機能を充実させた、併せて8月には事業所を同市山口町に移転させ、更なる相談支援センター機能の充実を見据え、各関係機関との連携強化と共に、障がいのある方の自立生活に向けた相談支援に取り組んだ。

また、昨年度より寺井地区に続き、能美市内3ヶ所に「あんしん相談センター」が設置され、高齢者に加え、障がいのある方や生活に困窮されている方の総合相談窓口として運営されている。複合世帯や生活困窮世帯など、広い視野で支援を行う必要性があるので、各あんしん相談センターと連携を密に取り合いながら支援を進めた。障がいのある方が安心して地域で生活を送っていくために、本人・家族の声を聴くことはもちろんのこと、地域の方の声を聴き、顔の見える関係を作り、連携することが大切であると考え、地域とのかけはしとなっている各あんしん相談センターの協力のもと、地域の方を含めた会議等にも積極的に行った。支援の方向性に悩むケースについては、能美市役所の我が事丸ごと推進課主催で行われている支援チーム会議でケース検討させて頂き、各関係者の皆様と幅広い視点で協議を重ねた。

<行政、他機関との連携>

月1回開催される相談支援事業所連絡会にて、ケース報告や事例検討会を行う。

昨年度より、あんしん相談センターが3ヶ所設置されたこともあり、我が事丸ごと推進課が中心となって、各あんしん相談センターと各相談支援専門員とで集まり、意見交換を行った。

<障害者自立支援協議会>

能美市では分野別連絡会として、相談支援事業所連絡会、こども連絡会、事業所連絡会(通所系、訪問系)があり、各連絡会で地域課題等を出し合い、課題に対してどのように取り組んでいくのかなど協議を行っている。各連絡会では、多方面から見た地域課題があがっている。各連絡会の取組みについては、運営会議にて報告され、定例支援会議に向けて検討課題の整理等を行っている。また、地域生活支援拠点の整備に向けてワーキンググループにて協議を進めていく中で、能美市内の各事業所の方々に向けて研修会が開催された。

障がいのある当事者やその家族の方々が集う機会として「思いを語り合う会」が2回開催された。

(文責：海老原)

(令和2年度に向けて)

基本方針一 南加賀圏域の各市の行政、社会福祉協議会、医療機関、福祉サービス事業所などと連携をとり、障がいのある方の安心した豊かな生活への支えとなり、合わせて高齢化や親亡き後を見据えた柔軟で切れ目のないサポート

体制を協働しながら社会福祉の課題に取り組み、福祉の向上を目指す。

重点実施事項

- ① 地域の精神障がい者支援のため、行政、関係機関などと連携をとりながら包括的拠点として地域に貢献し、相談支援事業を充実していく。
- ② 自立支援協議会や地域関係団体協議会、事例検討会などへの参加を通して、地域社会資源の開発、人材育成に役立てる事が出来るよう専門職として発揮し活動する。
- ③ 家族全体がニーズを抱えているケースが増え、多様な連携やきめ細やかな関わりが求められるので、長期的な視点で家族全体を関係者で支え、一緒に考え一緒に次のステップへ進んでいけるよう支援に努める。

(文責：海老原)

《生活介護事業、自立(生活)訓練事業、地域活動支援事業》 地域活動センターくろゆり

1 事業の概要

(1) 生活介護事業 (介護給付)

(目的) 日常生活をより豊かにするため、創作活動、余暇活動、生産活動の機会を提供し、必要に応じて、食事や入浴、服薬、排泄等の介助等支援を提供する。それぞれの希望をもとに個別支援計画を作成し、創意工夫をし、個別に支援を提供することを目的とする。

(定員) 12人

(利用料) 1日 (区分2) 552円 (区分3) 605円
(区分4) 675円 (区分5) 957円
(区分6) 1,279円

(利用期間) なし

(利用区分) 区分3以上、50歳以上の方については区分2以上

(2) 自立(生活)訓練事業 (訓練等給付)

(目的) 自立(律)した日常生活や社会生活が営めるよう、それぞれの方に合わせた期間で目標を立て、本人の望む生活が出来るように支援を提供する。それぞれの希望をもとに個別支援計画を作成し、創意工夫をし、個別に支援を提供することを目的とする。

(定員) 8人

(利用料) 1日 747円

(利用期間) 原則として2年間

(利用区分) なし

(3) 地域活動支援センターくろゆり (小松市、能美市、加賀市、川北町委託事業)

(目的) 創作活動、余暇活動、生産活動などを通じ、各個人がそれぞれの生活を豊かにし、生きがいや夢を持って生活できるように創意

工夫し支援を提供すること。また、「気軽に立ち寄れる場所」としての機能を重視することを目的としている。

- (定員) 若干名
 (利用料) 4時間以下 266円 4時間を超えて6時間以下 346円
 6時間を超えた場合 405円
 (利用期間) なし
 (利用区分) なし

(4) サービス内容 (各事業共通)

- 創作活動 畑での野菜、五七五(俳句)、パソコン利用等
 余暇利用 調理、買い物、カラオケ、体育館利用、散歩等
 生産活動 ねじの袋詰め、内職作業等
 季節行事 初詣、花見、忘年会、年度末会等
 各種相談 金銭相談、制度相談、生活相談、医療相談・同行等
 その他 送迎サービス 昼食注文サービス、入浴・洗濯サービス(実費)等
 個別支援計画に基づき、必要に応じ様々なサービスを提供している。

2 事業利用状況

(1) 登録者の状況

①月別、事業利用別登録者数の動向

単位:人

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
生活介護	11	12	13	14	14	14	14	14	14	14	13	13	13.3
地域活動	17	15	15	14	14	14	14	13	12	11	11	11	13.4
合計	28	27	28	28	28	28	28	27	26	25	24	24	26.7

②市町村別事業利用別登録者数

令和2年3月31日現在

項目	小松市	能美市	加賀市	川北町	合計
生活介護	10人	2人	0人	1人	13人
自立(生活)訓練	事業休止				0人
地域活動	6人	2人	2人	1人	11人
合計	16人	4人	2人	2人	24人

③年代別登録者数

令和2年3月31日現在

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	0人	3人	2人	1人	7人	1人	14人
女性	0人	3人	3人	1人	3人	0人	10人
合計	0人	6人	5人	2人	10人	1人	24人

関係機関に向けチラシの配布、訪問、電話での連絡等を行った結果、26件の問い合わせがあり、その内1人が新規登録者となった。利用者の状況では、くろゆり内で地域活動支援事業から生活介護事業に2人が変更し、利用終了者は他事業所への変更者3人と一般就労に1人、その他1人で計5人であった。今年度の登録者及び見学者動向として就労系事業所をリタイヤされた方や発達相談支援センターからの紹介で地域生活支援事業への問合せや見学をする方が多く、目的は日中の居場所やコミュニケーションを目的とした利用希望者が多い一年でした。

(2) 利用人数の状況

単位:人

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	128	127	131	145	138	144	156	159	158	143	122	148	1,699
自立訓練	事業休止												0
地域活動支援	77	56	46	53	33	58	47	52	46	13	16	16	516
利用者数月計	205	183	177	188	171	202	203	211	204	156	138	164	2,215
一日の平均利用者数	9.8	9.2	8.4	6.3	8.1	10.6	9.2	10.6	9.7	8.2	7.7	7.8	8.8

1日平均8.8人の利用となり昨年度と比較すると0.5人の増となった。稼働率は、生活介護事業57.7%、地域活動支援事業19.9%となっている。

3 活動内容

くろゆり利用者から活動に対する希望や思いを聴き、活動や作業時間に反映していく事で利用者主体の活動に取り組みました。又、作業単価を上げる事や年度末の賞与を支給しました。箱折作業が無くなり、新たな内職を希望者に対し午前午後の活動後に提供する事で工賃を多く支給する事が出来た。同時に、活動後の時間に何かしたいという思いがある方の希望に沿う事も出来た。

「くろゆり」が社会や地域との繋がりとなる様、小松能美メンタルヘルスボランティア友の会による「学ぼうさ」の活動を定期的に行う事が出来ました。開催日は昨年に引き続き利用者の希望に合わせ毎週の開催となりました。

今年度も、地域のボランティアの方を講師として招き「五七五」の俳句作りを定期的に行った。完成した作品は、地域の文化祭等の作品展示に出店しました。

日頃の感謝を込め、ボランティアの方を招待したイベント活動も行う事が出来、目標としていた「くろゆり」発信の活動にボランティアを招き一緒に活動に取り組む事が出来た一年となった。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、外出活動などの一部の活動を自粛し事業所内で行う活動に変更する事で利用者に対し、ご理解とご協力をお願いすることが多くなりました。

令和1年度人気活動ベストⅢ

ランク	活動内容	人数
1位	年度末会	13人
2位	当事者研究	12人
	体の健康について	
	マナー講座	
	しゃぼん玉	
3位	小旅行	10人
	花見	
	調理教室	
	BBQ	
	コーちゃん	
	脳トレ	
忘年会		

(令和1年度の主な動き)

新規利用者獲得の為、今年度もくろゆりの情報をホームページやパンフレット等を行政機関や相談支援事業所、医療機関等の関係機関に発信しました。又、登録者に対して、活動などに対する希望を確認し、これまで以上に利用者主体の活動となるよう取り組みました。

又、一般企業から内職を請け負い、希望者に対し内職作業を提供する事で課題となっていた、活動後の時間帯が落ち着かない利用者や作業や工賃を増やしたい利用者に対して、これまで以上に安心してくろゆりで過ごす事が出来るよう取り組みました。

今年度の家族懇談会ですが、前年度家族の参加が少なかったことから、家族にアンケートを実施し、家族の希望に沿った個別家族懇談会を3月に行う予定をしておりましたが、新型コロナウイルスの感染防止対策として、中止となりました。

(令和2年度に向けて)

令和2年度も、利用者の居場所となるようくろゆりを目指し、様々な活動に取り組めます。新たな利用者を獲得する為、くろゆりの情報を地域に向け発信します。

重点実施事項

- ① 健康で笑顔のある生活の為に、体調の安定・生活リズムを整えていく事の出来る活動や時間の工夫を行う。
- ② 地域や関係機関に向けて「くろゆり」の情報を発信する
- ③ 地域交流・地域貢献となる「くろゆり」を目指し、利用者とメンタルヘルスボランティア友の会・利用者家族・社会・地域等と繋がりを感じる事の出来る場を作り、提供していく。
(文責：西東)

《地域交流推進事業》

1 地域交流センター及び地域交流室の活用

青葉会、くろゆり会、小松能美メンタルヘルスボランティア友の会の活動の拠点として各種行事や会議等で利用されております。その他、地域の福祉医療関係者もピア活動の場として使用する等、多目的に利用されている。

令和1年度地域交流センター及び地域交流室利用の推移

団体名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
青葉会と利用者	5 14	6 38	6 31	5 15	2 6	3 17	3 12	3 8	3 15	4 24	2 18	0 0	42 197
くろゆり会	0 0	2 4	1 1	0 0	0 0	0 0	1 2	1 2	1 2	1 1	1 2	0 0	8 14
メンボラ友の会	8 85	9 48	6 65	5 23	4 25	5 34	9 37	11 68	4 31	7 31	6 50	1 6	75 503
その他	12 40	10 25	14 63	15 62	5 13	1 5	6 15	44 157	10 30	7 36	4 11	2 4	130 461
計	25 139	27 115	27 160	25 100	11 44	9 56	19 66	59 235	18 78	19 92	13 80	3 10	255 1,176

上段回数：行事及び会議の回数

下段：行事及び会議の参加者数

2 青葉会（当事者会）の活動

今年度青葉会は、7月にうた声喫茶をなごみの郷 地域交流室にて開催しました。うた声喫茶とは、カラオケをしながら普段感じていること、思っていることなど近況報告し、歌がうまかったで賞などみんなで決め、景品も準備しました。9月の食事会では、会員の誕生日会もかねて行い「また行きたい」など会員より声がありました。



～ 食事会 ジョイフルにて ～



～ 芦城公園散策 ～

開催月日	活動内容	利用者
4月6日（土）	《企画》語らいの場 第1回	7名
5月21日（火）	定例会	2名
6月18日（火）	定例会	4名

6月21日(金)	《企画》語らいの場 第2回	5名
7月16日(火)	定例会	4名
7月27日(土)	《企画》うた声喫茶	7名
8月20日(火)	定例会	6名
9月14日(土)	《食事会》ジョイフル	5名
9月17日(火)	定例会	5名
10月1日(火)	臨時定例会	5名
10月18日(金)	定例会	5名
11月19日(火)	定例会	6名
12月17日(火)	定例会	4名
1月21日(火)	定例会	3名
2月18日(火)	定例会	5名
2月28日(金)	《企画》芦城公園散策	5名
3月17日(火)	定例会	5名

3 その他の地域福祉関係者との活動内容

1) SUGAR JAPAN はピアカウンセリングを行うグループです。生活のことや仕事のこと、病気、薬、老後のことなど幅広くみんなで話し合っています。メンバーには、当事者の方を中心に、大学教員、福祉施設の職員、病院のナースに作業療法士、ボランティアの方と幅広く参加しています。そのグループに当法人職員も平成25年から参加して当法人の地域活動センターしらさぎで2ヶ月毎に集まっています。特にテーマは決めずに話したいことや気になることをみんなで話し合い、時には討論になったりして濃密な約2時間を過ごしています。そして、今年度は石川県内の精神科病院に勤務する精神科認定看護師や訪問看護師、PSW等の事例研究グループであるクリスタルの会とともに活動を行い、交流の幅を広げています。

2) 「虐待防止委員会」取り組みに関すること

なごみの郷職員として権利擁護等の意識を高め、虐待防止につなげていくことを目的に、年3回委員会を開催し取り組みを行った。今年度は、虐待が起こる要因のひとつとして、職員のストレスが大きなウエイトをしめていることから、全職員対象にストレスチェックを行い、現状把握を行うとともに、令和2年2月21日に研修を実施、ストレスケアなどについてどう取り組むかなどをグループワークにて話し合いを行った。今後も話し合いを継続しながら、各事業所で職員へのストレスケアを行いながら、虐待防止に向け取り組んでいく。



くろゆり小旅行



利用者のアート作品

3) ボランティアに関すること

令和1年度も小松能美メンタルヘルスボランティア友の会の役員会（1回/2ヶ月）への出席や利用者との交流行事であるバスハイク、お茶会等へ参加し利用者ボランティアの交流に努めた。又、毎月行う友の会主催のいくつかの「学びの会」等は、利用者の「学びたい」ニーズに寄り添った企画として続けております。

しかし2月後半以降は新型コロナウイルス問題で春の日の食談会中止や各種企画、会合が中止となり活動の機会が減り残念であった。

— 以下、令和1年度メンボラ友の会事業報告書からの抜粋 —
メンタルヘルスボランティアとの交流行事

月	日	曜	内 容	参加者
6	1	土	<ul style="list-style-type: none"> ・第20回なごみ祭 ☆野菜切花コーナー お客さんの年齢層が替わり売れ行きが良くなかった。来年は学生さんの配置をお願いしたい。 ☆お抹茶コーナー 場所がしらすぎに変わり、祭り会場の音楽や声が聞こえ全体の流れが見えてよかった。初めてA・Bグループが合同で行い交流もできてよかった。 	友の会42人
6	10	月	<ul style="list-style-type: none"> ・おはぎの会 毎年、会員に寄付していただく2升のもち米で160個のおはぎを作ります。きな粉・青さ・粒あんの3種類で1パックにします。嬉しいことに利用者の参加人数も増えてきた。沢山作るため、会員が早い時間から準備をしていましたが、全工程を見たい利用者さんの声もあり次回は工夫して希望に沿いたいと思います。「手作りおはぎはとてもおいしく家族で食べた」など喜びの声を聞いた。 	利用者20人 友の会15人 職員4人 計39人
8	26	月	<ul style="list-style-type: none"> ・バスハイク下見 Bグループ役員5人でなごみの郷を9時に出発して2時に帰る。第一本店・北國新聞白山製作センター・アパホテルの3箇所で当日の打ち合わせを行う。 	友の会5名
9	9	月	<ul style="list-style-type: none"> ・みそ開き 2月に仕込んだ味噌を持参した容器に入れみんなに分けた。ちょうど良い美味しい出来上がりになりました。その後、出来立ての味噌で小豆、豆腐、さつまいもを入れて「小豆汁」を作りみんな美味しく食べ、どの顔がほころんでいた。 	利用者15名 友の会10名 職員3名 計28名



10	15	火	<p>・バスハイク</p> <p>なごみの郷がレンタカーを借りて、念願のバス2台でお出かけしました。最初の箔一では金箔貼り体験とお買い物、昼食はホテルのすき焼きランチをいただき、午後は北國新聞白山製作センターで夕刊が出来るまでを学び、ロボットの活躍にもびっくりしました。「適度な移動時間、簡単な体験とゆったりとしたバスハイクでよかった」「ランチが美味しかった」「大型バス2台で移動がとてもスムーズでよかった」など色々な声を聞きみんなに喜んでもらえてホッとした。火曜日は休みの所も多く行先を決めるのにとっても悩んだが、嬉しい一日でした。</p>	利用者21名 友の会21名 職員 6名 計48名
1	20	月	<p>・初釜</p> <p>お菓子は花卉持ちに始めて練り切りをを少し混ぜてみました。お茶は京都のお抹茶で美味しいと好評でした。毎年お花はお茶をされている会員のお庭の花で皆さんを迎えており、利用者や職員に喜んで頂きました。今年初めて1階のコーナーで体験希望4人お茶をたててもらい、希望者がお茶をいただき、自然な拍手にみんなが感動したそうです。終了後すぐに、利用者や職員から感想文を可愛いハート型に書いて貰うなど、時間はとても遅くなりましたが心が温かくなる初釜でした。</p>	利用者28名 友の会15名 職員14名 計57名
2	10	月	<p>・みそ作り</p> <p>大豆5kgを会員4人が自宅で炊いて持参し13時に集合した。説明後2班に分かれ、大豆をミンサーにかけてから、塩や麴をたらいで混ぜた。その後お団子に丸めて容器に詰めこんだ。いつもの手順でみんなも手慣れている。美味しい味噌が出来てくれることを願って少しの時間交流した。「楽しかった」「ストライク投げた」「こねるのが思ったより難しかった」味噌の作り方が分かった」「大豆の煮汁に甘みがあると美味しい」等などの感想があった。</p>	利用者17名 友の会12名 職員 4名 計33名
3	6	土	<p>・第21回春の食談会</p> <p>— 新型コロナウイルス問題により中止 —</p>	—

学びの会（絵手紙）

月	日	曜	内 容	利用者	友の会
4	26	金	大麦を描く	2	1
5	24	金	芍薬を描く	4	2
7	26	金	ゼラニウムを描く	1	1
8	23	金	カボチャ、葉鶏頭を描く	2	2
9	27	金	サツマイモを描く	2	1

10	25	金	西王母、ダイヤモンドドリリーを描く	2	2
11	22	金	白菜、パプリカ、サヤエンドウを描く	1	2
12	20	金	干支の型抜きアート	10 職 4	3
1	24	金	みかん、ねずみを描く	4	1
2	28	金	— 新型コロナウイルス問題により中止 —		

学びの会（しゃべろっさ）

月	日	曜	内 容	場所	利用者	友の会
4	9	火	今まで行ったところで楽しかった事・体験など (高校時代の沖縄旅行、哲学の道の桜吹雪、穴水の カキ祭、能登島へのツーリング、切り株の一枝の桜)	はまかぜ	7	2
5	14	火	時代は進化している、笑うことは元気になる 人の話を聞かないと駄目（I さんを評価）	なごみ	2	2
6	11	火	春華秋冬のどの季節が好きか？それは何故？ 趣味の話、心配事 等	はまかぜ	4	3
9	10	火	自動運転について、今年の夏は2ヵ月入院した 母が亡くなり寂しい	なごみ	4	2
10	8	火	今困っている事について（相手に伝わらい、家が ゴタゴタしている、弟父母の事で悩んでいる）	はまかぜ	6	3
11	12	火	1年間を振り返る（対人関係で言ったことで反省 この会で話が出来たことが良かった、早かった）	なごみ	4 学生 2	2
12	10	火	1年を振り返り良かった事（紅葉狩りが良かった、 あやとり橋、こおろぎ橋、肉コロッケなど 運動をしていると病気を忘れる）	はまかぜ	5	3
1	14	火	宇宙・光・人・女性について、不幸ではない人生だ った、いろんなことに適応してきた	なごみ	2	2
2	18	火	写真展に2枚選ばれた、お金になるから嬉しい、家 族は体調が悪い、自分を家事をしていて調子が良い 一日一万歩歩くようにしている	はまかぜ	9	3
3	10	火	— 新型コロナウイルス問題により中止 —			

くろゆり学ぼうさ

月	日	曜	内 容	利用者	友の会	日	曜	内 容	利 用 者	友 の 会
4	4	木	個別ドリル	2	1	12	金	個別ドリル	2	1
	18	木	個別ドリル	2	1	26	金	個別ドリル	3	1
5	9	木	個別ドリル	1	2	17	金	個別ドリル	2	1
	24	金	個別ドリル	4	1	30	木	個別ドリル	2	2
6	6	木	個別ドリル	2	2	14	金	個別ドリル	2	1
	20	木	個別ドリル	3	1	28	金	個別ドリル	3	1
7	4	木	個別ドリル	2	2	12	金	個別ドリル	1	1
	18	木	個別ドリル	2	2	26	金	個別ドリル	2	1
8	1	木	個別ドリル	3	2	9	金	個別ドリル	3	1
	22	木	個別ドリル	3	1	30	金	個別ドリル	3	1
9	5	木	個別ドリル	4	2	19	木	個別ドリル	3	1
	19	木	個別ドリル	4	1	26	木	個別ドリル	4	2
10	3	木	個別ドリル	3	2	10	木	個別ドリル	3	2
	17	木	個別ドリル	4	2	24	木	個別ドリル	2	2
	31	木	国語読解力について	4	2	—				
11	7	木	個別ドリル	4	2	14	木	個別ドリル	4	2
	21	木	個別ドリル	4	2	28	木	個別ドリル	2	2
12	5	木	個別ドリル	2	2	12	木	国語（新聞のコピーを見て）	3	2
	19	木	個別ドリル	2	2	26	木	国語（新聞のコピーを見て）	3	1
1	9	木	個別ドリル	4	2	16	木	個別ドリル	5	1
	23	木	個別ドリル	3	2	30	木	個別ドリル	3	3
2	6	木	個別ドリル	1	3	13	木	個別ドリル	3	3
	20	木	個別ドリル	2	2	27	木	—新型コロナ問題により中止—	2	2
3	— 新型コロナ問題で中止 —									



メンボラバスハイク



味噌作り

くろゆりハンドベル

月	日	曜	内 容	参加者	友の会
11	19	火	発端は「くろゆり」でなごみ祭りの出し物としてハンドベルをしたくて、会員にも参加をお願いした 練習曲（きらきら星、うみ）	利用者7 学 生2 職 員2	3
12	24	火	くろゆりのクリスマス会に会員も一緒に楽しみました。 利用者達が作ったケーキをいただきました。 練習をしていた、クリスマスにぴったりのきらきら星の演奏をとてとても上手に素敵にできました	利用者 10 職員2	5
1	21	火	この日はいつものキーボード演奏の方の都合が悪く、替わりの会員の方に急遽お願いしました 練習曲（きらきら星、春の小川、春が来た）	利用者4 職 員2	3
2	18	火	会報委員会と重なり会員2名の参加です 少人数でも、1人が2つのハンドベルを持って演奏できるようになりました。練習後、ぜんざいを皆で頂きました また、食談会で演奏することになりました。 練習曲（きらきら星、春の小川、春が来た）	利用者3 職 員3	2
<p>何回か練習を重ねて「くろゆり」の皆さんと一緒に演奏することを楽しみにしていましたが、残念なことに新型コロナウイルスの影響で、食談会もなごみ祭りも中止となりました。 次の機会に是非「くろゆり」の皆さんと一緒に楽しみたいと思います。</p>					

ほっとサロン

月	日	曜	内 容	利用者	友の会
4	20	土	・コーちゃん持参の折り紙で皆でこいのぼりを作る ・コーちゃんと手品をみんなでやってみる ・花見に行った（くろゆりは兼六園・つばさは芦城公園）	5	4
5	18	土	・なごみの元利用者Tさんが久しぶりに参加（以前のなごみの利用者だった方々の思いで話 ・加藤さん夫婦結婚15周年・炎鵬の話など尽きない話題	7	4
6	15	土	・職員への対応が気になる ・職員と利用者がある線を引かなければならないのか ・職員はいろいろ話をしてくれる	2	4
7	20	土	・大相撲の郷土力士3人の応援をしている ・昔の写真を見て、利用者さんやボランティアさんの話に花が咲く ・最後に歌を歌い、それに合わせて肩たたきをする	6	4
9	21	土	・平和堂のお店が少なくなりさみしい ・お母さんに料理を作ってあげたら涙を流して喜ばれた ・夜間、トイレに5~6回行く	5	4
10	19	土	・パワハラ、虐待について ・バスハイクについて（ランチが美味しく、金箔貼りが楽しかった） ・大風19号について	5	3
11	16	土	・自分の干支を話す ・職場の人間関係について ・結婚の事 最後に「さくら」を独唱 など	5	4
1	18	土	・以前蜂に刺されたので2回目は危険なので気を付けている ・昨日カレーを食べ、のどに詰まらせ救急車で病院へ行った。気を付けて食事をしている。	3	4
3			— 新型コロナウイルス問題で中止 —		

第20回 なごみ祭

令和1年6月1日(土)、第20回目のなごみ祭を開催しました。

「20年の感謝を込めて 地域と共にこれからも」をサブテーマにかかげ、なごみの郷の関係者、利用者、地域の方、みんなで一緒に楽しめるお祭を目指しました。

当日は多数の飲食ブース、和太鼓「桜」とイエッカベッカのライブ、当たりくじ付きのいり菓子撒き etc.皆様のお陰で大変盛り上がりました。



地域の皆様とのふれあい



荒田理事長の開会宣言！



楽しそうな親子の姿

第21回 春の日の食談会中止

令和2年3月6日で21回目となる予定の「春の日の食談会」が新型コロナウイルス問題で開催が中止となりました。毎年、利用者、家族会、メンバー友の会、職員など100人近くによる楽しい食談会でしたが、来年の開催まで持ち越しとなりました。



写真は第20回のものです

III 令和1年度の決算状況

1 資金収支計算書

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

（自）平成31年4月1日 （至）令和2年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	15,000,000	14,548,827	451,173	
	障害福祉サービス等事業収入	136,251,000	138,910,126	△ 2,659,126	
	経常経費寄附金収入	200,000	150,000	50,000	
	受取利息配当金収入	6,000	619	5,381	
	その他の収入	1,066,000	1,014,272	51,728	
	事業活動収入計（1）	152,523,000	154,623,844	△ 2,100,844	
	支出				
	人件費支出	98,226,000	96,695,826	1,530,174	
	事業費支出	12,877,000	12,055,146	821,854	
事務費支出	21,933,000	19,366,969	2,566,031		
就労支援事業支出	15,000,000	14,795,027	204,973		
支払利息支出	45,000	37,157	7,843		
事業活動支出計（2）	148,081,000	142,950,125	5,130,875		
事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	4,442,000	11,673,719	△ 7,231,719		
施設整備等による収支	収入				
	設備資金借入金収入	9,000,000	9,000,000	0	
	固定資産売却収入		0	0	
	その他の施設整備等による収入	66,000	66,000	0	
	施設整備等収入計（4）	9,066,000	9,066,000	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	2,300,000	2,300,000	0	
固定資産取得支出	17,550,000	17,145,348	404,652		
その他の施設整備等による支出		0	0		
施設整備等支出計（5）	19,850,000	19,445,348	404,652		
施設整備等資金収支差額（6）=（4）-（5）	△ 10,784,000	△ 10,379,348	△ 404,652		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動による収入		0	0	
	その他の活動収入計（7）	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	2,026,000	2,025,962	38	
その他の活動による支出	120,000	112,000	8,000		
その他の活動支出計（8）	2,146,000	2,137,962	8,038		
その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8）	△ 2,146,000	△ 2,137,962	△ 8,038		
予備費支出（10）			0		
当期資金収支差額合計（11）=（3）+（6）+（9）-（10）	△ 8,488,000	△ 843,591	△ 7,644,409		
前期末支払資金残高（12）	76,826,037	76,826,037	0		
当期末支払資金残高（11）+（12）	68,338,037	75,982,446	△ 7,644,409		

2 事業活動計算書

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）
法人単位事業活動計算書

（自）平成31年4月1日 （至）令和2年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	14,548,827	14,318,292	230,535
	障害福祉サービス等事業収益	138,910,126	131,506,812	7,403,314
	経常経費寄附金収益	150,000	210,000	△ 60,000
	サービス活動収益計（1）	153,608,953	146,035,104	7,573,849
	費用			
	人件費	96,872,826	93,131,493	3,741,333
	事業費	12,055,146	10,108,187	1,946,959
	事務費	19,366,969	16,211,483	3,155,486
	就労支援事業費用	14,819,817	14,098,115	721,702
減価償却費	14,009,662	13,166,538	843,124	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 6,000,514	△ 6,273,746	273,232	
サービス活動費用計（2）	151,123,906	140,442,070	10,681,836	
サービス活動増減差額（3）=（1）-（2）	2,485,047	5,593,034	△ 3,107,987	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	619	692	△ 73
	その他のサービス活動外収益	1,014,272	818,941	195,331
	サービス活動外収益計（4）	1,014,891	819,633	195,258
	費用			
	支払利息	37,157	70,520	△ 33,363
サービス活動外費用計（5）	37,157	70,520	△ 33,363	
サービス活動外増減差額（6）=（4）-（5）	977,734	749,113	228,621	
経常増減差額（7）=（3）+（6）	3,462,781	6,342,147	△ 2,879,366	
特別増減の部	収益			
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計（8）	0	0	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	64,343	1	64,342
その他の特別損失	0	0	0	
特別費用計（9）	64,343	1	64,342	
特別増減差額（10）=（8）-（9）	△ 64,343	△ 1	△ 64,342	
当期活動増減差額（11）=（7）+（10）	3,398,438	6,342,146	△ 2,943,708	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（12）	110,219,018	103,876,872	6,342,146
	当期末繰越活動増減差額（13）=（11）+（12）	113,617,456	110,219,018	3,398,438
	基本金取崩額（14）	0	0	0
	その他の積立金取崩額（15）	0	0	0
	その他の積立金積立額（16）	2,025,962	0	2,025,962
	次期繰越活動増減差額（17）=（13）+（14）+（15）-（16）	111,591,494	110,219,018	1,372,476

3 貸借対照表

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

法人単位貸借対照表

令和2年3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	81,183,620	81,057,729	125,891	流動負債	10,674,456	8,703,184	1,971,272
現金預金	51,432,712	55,686,496	△ 4,253,784	事業未払金	2,243,861	2,701,216	△ 457,355
事業未収金	24,454,445	23,324,716	1,129,729	1年以内返済予定設備資金借入金	3,100,000	2,300,000	800,000
未収補助金	474,912	723,818	△ 248,906	預り金	2,143,695	61,811	2,081,884
商品・製品	88,015	77,450	10,565	職員預り金	225,900	839,036	△ 613,136
仕掛品	53,938	42,902	11,036	仮受金	0	17,121	△ 17,121
原材料	445,765	492,156	△ 46,391	賞与引当金	2,961,000	2,784,000	177,000
立替金	0	17,887	△ 17,887	その他の流動負債			0
前払金	3,080,000		3,080,000				
前払費用	1,153,833	692,304	461,529				
固定資産	90,017,654	84,920,349	5,097,305	固定負債	16,284,000	10,430,000	5,854,000
基本財産	46,990,857	55,733,614	△ 8,742,757	設備資金借入金	15,550,000	9,650,000	5,900,000
土地			0	長期預り金	734,000	780,000	△ 46,000
建物	45,990,857	54,733,614	△ 8,742,757	負債の部合計	26,958,456	19,133,184	7,825,272
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	43,026,797	29,186,735	13,840,062	基本金	11,546,875	11,546,875	0
土地	8,798,375	8,798,375	0	国庫補助金等特別積立金	18,978,487	24,979,001	△ 6,000,514
建物	24,590,969	14,677,137	9,913,832	その他の積立金	2,125,962	100,000	2,025,962
構築物	1,288,419	591,908	696,511	修繕積立金	2,125,962	100,000	2,025,962
機械及び装置	4,203,627	1,945,555	2,258,072	次期繰越活動増減差額	111,591,494	110,219,018	1,372,476
車輛運搬具	1,105,060	1,955,716	△ 850,656	(うち当期活動増減差額)	3,398,438	6,342,146	△ 2,943,708
器具及び備品	749,885	953,544	△ 203,659				
権利	164,500	164,500	0				
(何) 積立資産	2,125,962	100,000	2,025,962				
その他の固定資産	0		0	純資産の部合計	144,242,818	146,844,894	△ 2,602,076
資産の部合計	171,201,274	165,978,078	5,223,196	負債及び純資産の部合計	171,201,274	165,978,078	5,223,196

IV その他

1 法人内研修

月	日	対象	研修名
4	25	新任職員	新人職員研修（2日間）
11	17	全職員	法人全体研修「事例発表」（2事例）
2	21	全職員	虐待防止研修

法人では、専門職としての基盤などより深い理解や組織人としての業務遂行スキルなど、そして支援の科学的な裏付けと今後の指導者としてのスキルアップの人材が求められ、日々のOJTやOFFJTと合わせ体系的に育成研修を進めている。法人内研修の今年度は、新人職員研修と法人全体研修として各事業所からの事例発表と虐待防止研修を実施した。

事例発表では、創立20周年の節目も機に、なごみの郷の目指すべき理念の具現化など、活動の取り組みを振り返る機会とし、私たちが行う仕事の意味、価値、これからの進むべき視点などを発表を通して皆で考える機会とした。虐待防止研修では、虐待に陥る背景要因の一つとして職員のアンガーマネジメントを取り上げ、その視点など意見を深めた。次年度も必要な研修ニーズを踏まえ体系的に実施し、職員が主体的に考えていく研修を進めていきたい。

（文責：高田）

2 研修・各種団体会議への出席

月	日	研修・会議名	主催	出席数
5	15	甲種防火管理新規講習	日本防火・防災協会	1
	15～	2019年度対人援助技術講座 ～9/4計6日間	県社会福祉協議会	2
6	11～12	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者研修	県社会福祉協議会	1
7	3	食品衛生責任者研修会	小松能美食品衛生協会	2
	4	高次脳機能障害支援担当者研修会	県南加賀保健福祉センター	1
	23～	障害者相談支援従事者研修（現任研修）～8/22計3日間	県社会福祉協議会	1
9	25～26	相談支援従事者研修（初任者研修）	県社会福祉協議会	1
10	5～6	ISK 東海・北陸ブロック研修	県相談支援専門員協会 日本相談支援専門員協会	1
	21～23	社会福祉法人会計実務講座 初級コース	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	1
	24～25	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダー研修	県社会福祉協議会福祉研修センター	1
11	26～27	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員研修	県社会福祉協議会福祉研修センター	2
	26	就労支援者向けスキルアップ研修「発達障害者のコミュニケーションスキルの特性評価と支援方法について」	独）高齢・障害求職者雇用支援機構 石川支部 石川障害者職業センター	1
12	9、11	令和元年度サービス管理責任者等基礎研修	県社会福祉協議会福祉研修センター	2
1	16	「障がい」がある人の生活を支援する時に知っておきたい「あれやこれや」	文化・芸術活動支援センターかける	1
2	15～16	令和元年度医療的ケア児童等支援者養成研修	県地場産業振興センター	1
	25～26	令和元年度利用者個別支援計画基礎研修	県社会福祉協議会福祉研修センター	1

3 関連団体への参加

令和2年4月1日現在

氏名	関係団体	職名
荒田理事長	能美市自立支援協議会 認定NPO法人えんがわ	委員 理事
小川支援部長	小松市障害者自立支援協議会 ・全体会議 小松市虐待防止協議会いのちと心の部会 自殺防止対策研修会及び地域連絡会 石川県精神障害者事業所連絡会	代理 委員 委員 委員
高田支援部長	小松市社会福祉協議会 第三次能美市地域福祉活動計画評価委員会 能美市障害者自立支援協議会事業所連絡会	評議員 委員 委員
瀬戸支援部次長	小松市障害者自立支援協議会 ・精神障がい者等地域生活支援研究会	委員
金谷 葉月	南加賀就労支援強化連絡会 ネットワーク推進委員会	委員
番 千恵子	小松市障害者自立支援協議会 災害チーム	委員
北島 千裕	小松市障害者自立支援協議会 テーマ別検討会	委員
西東 健太	南加賀就労支援強化連絡会 クローバー制作委員会	委員
堂前 美春	小松市障害者自立支援協議会 ・運営委員会 ・テーマ別検討会 ・相談支援事業所連絡会 相談支援専門員協会 研修企画 日本精神保健福祉士協会石川県支部 相談支援従事者研修初任者研修 ペアレントメンター養成講座	委員 リーダー 委員 委員 災害対策委員 企画委員 インストラクター
宇野 結貴	小松市障害者自立支援協議会 ・精神障がい者等地域生活支援研究会 ・相談支援事業所連絡会 石川県精神保健福祉士会 教育・研修部	委員 委員 委員
南出 真里江	南加賀就労支援強化連絡会 ネットワーク推進委員会	委員
前出 真	南加賀就労支援強化連絡会 クローバー制作委員会	委員
海老原 綾 土山 信英	能美市障害者自立支援協議会 ・運営委員会 ・定例支援会議 ・相談支援事業所連絡会 ・事業所連絡会	委員 委員 委員 委員

4 令和1年度看護学生実習概要

1) こまつ看護学校実習概要

社会福祉法人なごみの郷では、毎年こまつ看護学校の精神看護実習の受け入れを行っています。精神看護実習では、昨年度に引き続き、「精神に障がいのある人の特徴を理解し、生活者としてよりよく生きるための看護を理解する」ことをねらいとし、「地域で生活している精神に障害のある人の看護を理解する。」ことをなごみの郷での実習目標として、就労支援センターつばさ、能美地域活動センターはまかぜ、地域活動センターくろゆりの通所事業所で各グループが2日間の実習を行いました。学生はメンバーとともに活動に参加し、メンバーの抱えている思いを知り、地域社会で生活をしている生活者としての姿を感じながら、精神に障害のある方への理解を深めていきました。

こまつ看護学校閉校に伴い、今年度で最後の実習受け入れとなりました。平成11年度から約20年に渡り、延べ700名余りの実習受け入れを行い、学生と共に職員も多くの事を学ばせていただきました。実習という学びの場を通し職員も成長させて頂いた事については深く感謝しお礼申し上げます。

2) 公立小松大学実習概要

今年度から平成30年4月1日開校された公立小松大学の精神保健看護実習の受け入れを行いました。精神保健看護実習では、「看護ケアを提供する対象者に対して、人権や権利を尊重した倫理的な態度で、また、病気や障がいに由来する対象者への否定的なイメージをもたずに、対象者を全人間的に理解するために必要なコミュニケーション能力を高める」ことを目的に、3グループで計20名の学生が、就労支援センターつばさ、能美地域活動センターはまかぜ、地域活動センターくろゆりの通所事業所へ学内での実習を含めて5日間の実習を行いました。学生は、メンバーと共に活動に参加し交流する中で、自分自身の関わり方を振り返りながら、関係構築のためのコミュニケーションについて考えました。また、関わりを通して、地域住民として生活する精神に障がいのある方への理解を深めていきました。

今年度は初めての实習受け入れとなり、先生方と1グループごとに振り返りを行い試行錯誤の中での実習でしたが、今回の実習を基に学生が精神に障がいのある方への学びを深めていける様、取り組んでいきたいと思ひます。

5 コマニー(株)社員研修

平成30年度からコマニー(株)新入社員の研修受け入れを行っています。共に働き、コミュニケーションをとる中で、施設や人のことを知り、「自分にできることは何か」を考え行動し、自分たちができる貢献をする。研修で得たものを日常で自分ができる実践に繋げていき、これからの貢献活動に繋げるを目的として、コマニー(株)新入社員7名が7/24(水)～26(金)までの3日間、なごみの郷の各事業所で研修を行いました。

研修では、精神疾患や障害についての学びをし、実際に精神に障がいのある方と接することで、持っていたイメージと違うことを知り、関わって行く事の大切さを感じてもらったことができたと思ひます。この学びがこれからの精神に障がいのある方への理解へと繋がり1人でも多くの理解者が増えていってもらえるとよいと思ひます。

6 小松市民病院 精神科医療チームと社会福祉法人なごみの郷 職員との実習

小松市民病院 精神科医療チームと社会福祉法人なごみの郷 職員とでお互いの職場での実習を通して業務内容と支援状況の把握をし相互理解を深めることを目的に行った。

小松市民病院精神科医療チーム 4名 ⇒ 社会福祉法人なごみの郷

令和元年7月3日(水)・7月10日(水)

社会福祉法人なごみの郷 職員 4名 ⇒ 小松市民病院精神科医療チーム

令和元年7月2日(火)・7月23日(水)

実習研修に参加した職員達の感想

・病院として様々な機能と役割があり、病棟デイケア・外来・作業療法と同じ病院内でそれぞれが違うアプローチをして回復へとつなげている。

監視カメラ・鍵付の病室、命をまもるためだからいいものだと納得することではなく、常に疑問を持ち、当事者の人権、人としての尊厳を考えることの大切さを学んだ。それは、医療でも福祉でも忘れてはいけないことだと感じた。

・精神科病棟スタッフの命に対する思いの強さ。ほんのちょっとしたことから自殺をする行動をとってしまう、できてしまう。だから予防対策には入念には入念にしている。想像していた以上に急性期の現場にいることを実感した。

利用者との信頼関係を深めていくために、関わりの一つ一つの中でとても大切なことではないかと感じた。『いのちに対する思いの強さ』を学びこれから大切にしていきたいと思いました。

・医師看護師作業療法士、薬剤師、ソーシャルワーカー等が一同に集まり入院されている患者さんの現在の様子今後の生活について話し合われた。退院後の生活を見据えていく中で、医療分野と地域で支える福祉分野との連携が大切であり、当事者一人一人ののぞむ暮らしについて理解しようとする気持ちを忘れず関わりあえるような支援者のチーム作りが大切だと思った。

小松市民病院 精神科病棟との実習研修を今後の地域連携に役立て、将来精神の病気になっても地域で安心して暮らしていける地域づくりに貢献することを目指していきたい。

7 わく・ワーク体験事業実施事業所として協力

松陽中学校 わく・ワーク体験事業実施の事業所として、相談支援センターなごみと協力して生徒1名の受け入れをしました。中学生の方に職場体験学習という機会を通して精神の病気になられて社会復帰のための訓練事業所を知って頂いたことは、地域啓発活動の良い機会となりました。

なごみの郷苦情解決第三者委員

令和1年度活動報告

月	訪問先	訪問内容	相談形式と人数		苦情 BOX 電話 等	計人数
4	はまかぜ	通常訪問	グループ相談	6		6
5	なごみ	通常訪問	個別相談	2	苦情㊦1	3
6	くろゆり	通常訪問	グループ相談	9		9
7	はまかぜ	通常訪問	グループ相談	7		7
8	なごみ	通常訪問	個別相談	4	苦情㊦1	5
9	くろゆり	通常訪問	グループ相談	10		10
10	はまかぜ	通常訪問	グループ相談	4		4
11	なごみ	通常訪問	個別相談	4	苦情㊦4	8
12	くろゆり	通常訪問	グループ相談	11		11
1	はまかぜ	通常訪問	グループ相談	8		8
2	なごみ	通常訪問	個別相談	5		5
3	くろゆり	—	新型コロナ対策にて訪問中止			
相談人数総計 76 人 (内苦情㊦6)						

■今年度の活動と次年度の展望

- ・平成17年(2005年)以来、今年度で15年目の活動となった。
- ・苦情解決第三者委員である井村千里、北岡和代の2名で活動を行った。
- ・はまかぜ、なごみ、くろゆりへの定期訪問活動(各施設を3か月毎)を行った。
- ・はまかぜとくろゆりは、訪問がプログラムに組み込まれているため、来所メンバーのほぼ全員が集まるグループ相談を行い、必要に応じて個別相談を行った。
- ・重大な苦情相談はなかったが、他の利用者に関する否定的な態度を示す苦情㊦が複数あった。
- ・次年度も、施設側の委嘱に応じて、同じ第三者委員が同様の活動を実践し、施設が提供するサービスの充実に貢献していくつもりである。
- ・今年度より、井村千里さんが苦情解決第三者委員として任命され、活動を開始した。

(文責：苦情解決第三者委員 北岡)